

講義名	医学一般
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3セメスター（2年次春学期）
受講者制限	

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<p>①人体の構造と機能について理解し、発展的な学習や応用につなぐことができる。</p> <p>②人の健康と疾病について学び、理解し、説明することができる。</p> <p>③今日の医学・医療の現状を学び、これからの課題や問題点の考察につなぐことができる。</p>
授業概要	<p>医学一般では、人体の構造と機能、主な疾患とその予防・治療・リハビリテーション、健康増進等についての基本的知識を学修する。また、社会保障制度と医療保障制度、保健医療対策などの基本的な事項を学び、さらに、「医の哲学」として「医学とはなにか」「健康とはなにか」「病気とはなにか」について問い、医の倫理、生命倫理について考察し、理解を深める。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	医学とは何か その歴史・発展と医の倫理	【医学とは、医療とは、歴史、学修法】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第2回	人体の構造と機能 ①	【骨、筋肉、血液、循環、呼吸器系】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分) 課題レポート作成(180分)
第3回	人体の構造と機能 ②	【消化器、泌尿器、内分泌系】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分) 課題レポート作成(180分)
第4回	人体の構造と機能 ③	【神経、生殖、皮膚、感覚器系】	課題レポート作成(180分) 第1～4回授業内容の復習、小テストへの準備(180分～)
第5回	ふり返りとまとめ ①	【小テスト】	小テストの復習：(90分～) 次回の予習：(120分)
第6回	臨床医学総論 主要な症状	【主要症状】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第7回	臨床医学各論 ① 主要な疾患とその対応	【呼吸、循環器系】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第8回	臨床医学各論 ② 主要な疾患とその対応	【消化器、代謝、内分泌、腎・泌尿器系】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第9回	臨床医学各論 ③ 主要な疾患とその対応	【血液・造血器、神経・筋、精神疾患】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第10回	臨床医学各論 ④ 主要な疾患とその対応	【アレルギー性、膠原病、感染症、中毒性疾患】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第11回	臨床医学各論 ⑤ 主要な疾患とその対応	【運動器、皮膚、婦人科・妊産婦疾患】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第12回	臨床医学各論 ⑥ 主要な疾患とその対応	【小児、眼、耳、耳鼻科・リハビリテーション】	第6～12回授業・履修内容の復習、小テストへの準備(180分～)
第13回	ふり返りとまとめ ②	【小テスト】	

			小テストのふり返り：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分)
第14回	人口統計と疾病の変化、健康状態と受療状況、社会保障と医療保障	【人口統計、健康増進、社会保障制度】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストへの準備をする(120分) 課題レポート作成(120分)
第15回	保険医療対策、医事法・薬事法・衛生法規	【母子・老人・精神保健、社会復帰、医事・薬事法】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テスト、GWへの準備をする(120分)
第16回	障害の概要	【健康・疾病・障害・老化】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テスト、GWへの準備をする(120分)
第17回	リハビリテーションの概要	【リハビリテーション】	履修内容の復習：(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テスト、GWへの準備をする(120分)
第18回	国際生活機能分類の考え方と概要	【国際生活機能分類(ICF)、多職種協働、連携】	全回の復習：(180分～)

テキスト	<p>[書名] 『医学概論(6版)』 [著者] 北村 諭 [出版] 中外医学社 [ISBN] 978-4-498-07917-5 [価格] 2,400円+税</p>
参考書・参考資料等	<p>[書名] 人体の構造と機能及び疾病 [著者編] 社会福祉士養成講座編集委員会 [出版] 中央法規</p> <p>[書名] 医学概論 [著者] 日野原重明 [出版] 医学書院</p> <p>[書名] 一步一步学ぶ生命科学 [監] 日本生理学会教育委員会 [出版] 女子栄養大学</p> <p>[書名] のほほん解剖生理学 [著者] 玉先生 [出版] 永岡出版</p> <p>[書名] 新版 からだの地図帳 [著者] 佐藤達夫(監) [出版] 講談社</p> <p>[書名] 新版 病気の地図帳 [著者] 山口和克(監) [出版] 講談社</p> <p>[書名] 医学概論 [著者] 川喜田愛郎 [出版] ちくま学芸文庫</p> <p>必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>定期試験 …(40%) 小試験・予習テスト …(30%) 平常点(レポート・受講態度等)…(30%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	これまでに学修した理科、生物を思い出しておいてください
その他特記事項	講義、反転学修、毎回の予習・復習テスト方式により学修。基礎的な知識の定着を図り、レポート作成により考える習慣を形成していきます。受講に際しては、テキスト、その他参考資料の予習や読み込みが必須です。提示する課題に対してグループワーク(GW)、プレゼンテーションも予定。
備考	「お知らせ」等連絡を学内ポータル「メッセージ」からしています。反転学修用URLは授業時に開示

講義名	基礎心理学
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1 Semester (1年次春学期)
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 松本 行弘	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①心理学についての基本的概念を学び、人の行動に対する理解と関心を高めることができる。 ②他の心理学分野を学ぶときの心理学的視点や基礎的知識を獲得できる。
授業概要	心理学が対象とする学問領域を提示し、そこで用いられる主要な概念についての基礎知識を概説する。その際、基礎知識が獲得され定着するために、各講義終了前の10分程度でレスポンスペーパーを書き、提出する。また、その結果やコメントは次回講義でフィードバックする。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに（オリエンテーション）	【自己紹介】 【授業がイデ】 【受講契約など】	予習：テキストの「はじめに」を読み、全体に目を通す(180分)
第2回	心理学とは何か	【対象】 【行動】 【接近方法】	復習：心理学の定義や研究法を確認する(180分) 予習：心の進化と発達について調べる(120分)
第3回	心の進化と発達	【認知機能】 【言語】 【発達】 【愛着】	復習：心の進化と発達について振り返る(60分) 予習：ライフサイクル論で発達課題などを確かめる(60分)
第4回	ライフサイクル	【人生周期】 【発達課題】 【高齢者の心理】	復習：ライフサイクルに関係する概念を確認する(120分) 予習：動機づけと情動について調べる(120分)
第5回	動機づけと情動	【動機】 【情動】 【葛藤と欲求不満】	復習：動機づけと情動について振り返る(120分) 予習：性格理論や検査について調べる(120分)
第6回	性格	【類型論と特性論】 【性格検査】	復習：性格理論・適応について振り返る(120分) 予習：知能観について調べる(120分)
第7回	知能	【二つの知能】 【知能検査】 【創造性】	復習：ノートから知能を概観する(120分) 予習：精神的健康と心理療法について調べる(120分)
第8回	メンタルヘルスと心理療法	【ストレス】 【カウンセリング】 【行動療法】	復習：精神的健康と心理療法を振り返る(180分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第9回	感覚と知覚	【五感】 【弁別閾】 【錯視】 【恒常性】	復習：感覚と知覚についてまとめる(120分) 予習：記憶について調べる(120分)
第10回	記憶	【忘却】 【短期記憶】 【長期記憶】	復習：記憶について振り返り確認する(120分) 予習：学習と思考について調べる(120分)
第11回	学習と思考	【刷り込み】 【条件付け】 【般化と弁別】 【問題解決】 【概念と言語】	復習：学習と思考について振り返り確認する(120分) 予習：脳の機能について調べる(120分)
第12回	脳と心	【高次脳機能】 【ニューロン】 【脳機能と情報処理】	復習：脳と心の働きについて振り返る(120分) 予習：脳損傷について調べる(120分)
第13回	脳損傷と心の働き	【心的機能の障害】 【言語機能】 【健忘】	復習：脳損傷と心の働きについて振り返る(120分) 予習：人の社会的行動について調べる(120分)
第14回	社会の中の人	【同調行動】 【他者認知】 【先入観と偏見】	復習：人の社会的行動について振り返る(120分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第15回	心と社会 全体のまとめ	【社会的ジレンマ】 【開かれた社会】	復習：人の社会的行動の振り返りとまとめ(180分)

テキスト	[書名] 『はじめて出会う心理学 改訂版』 [著者] 長谷川寿一・他 [出版] 有斐閣アルマ [ISBN] 978-4 - 641 - 1234 - 58 [価格] 2,000円+税
参考書・参考資料等	[書名] 『図説心理学入門』 [著者] 斉藤勇編 [出版] 誠信書房 [価格] 1,800円+税 必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。

上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点(受講態度・レスポンスペーパー等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
その他特記事項	基礎知識が獲得され定着するために、各講義終了前の10分程度でレスポンスペーパーを書き、提出する。また、その結果やコメントは次回講義でフィードバックする。
備考	テキストは必ず購入すること。 キャリア教育として、以下のことに特に注意すること。 ①1回目のオリエンテーションでの受講契約を厳守すること。 ②授業環境を乱す行為には厳正に対処する。 ③疑問や意見は迷わず教員に伝えること。尚、内容は守秘される。

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	家族社会学
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	5セメスター（3年次春学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ パン ジュイン	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標

- ①家族社会学の基本概念と理論を習得することができる。
 ②現代社会における家族問題と家族福祉の現状と課題についての理解を深めることができる。

授業概要

本講義では、「現代社会と家族」をテーマに授業を進める。「家族」は私たちにとって、身近な存在であるものの、いざ「家族とは？」と聞かれると戸惑うだろう。というのは、現代社会において、社会構造の急激な変化にともない、「家族の崩壊」、「家族の危機」につながりかねないさまざまな家族問題が出現したからである。本講義では、家族に関する一般的な概念と諸理論を解説し、家族関係に関するいくつかのトピックスを取り上げ、個人と家族、そして家族と地域社会の諸関係に焦点を当て、これからの家族のあり方について考える。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション～家族とは？～	【授業の内容および進め方】	予習：シラバスを読んで内容を理解する(30分)
第2回	現代社会における家族関係の変容	【家族関係の変容】	家族社会学の研究領域について調べる(90分)
第3回	日本の世代構成の変化	【世帯構成】	家族の定義について調べる(90分)
第4回	家族の類型と分類	【類型と分類】	類型と分類の違いについて調べる(60分)
第5回	家族の構造と機能	【構造と機能】	家族の機能について調べる(90分)
第6回	異性交際とパートナー選択	【異性関係】	付き合いの意味について考える(90分)
第7回	結婚の個人的社会的機能	【人間関係】	結婚の意味について考える(90分)
第8回	主婦とは何か？	【主婦の誕生】	日本の主婦化について調べる(90分)
第9回	共働きと子育て	【子育て】	日本の共働きと子育ての現状について調べる(90分)
第10回	家事と仕事	【家事】	家事は仕事なのかについて考える(90分)
第11回	子どもの社会化	【社会化】	社会化の概念について調べる(90分)
第12回	結婚と離婚	【家族関係】	日本の結婚率と離婚率を調べる(90分)
第13回	家族関係の変容とセーフティネット	【セーフティネット】	家族セーフティネットについて調べる(60分)
第14回	地域社会と家族のつながり	【地域社会と家族】	家族と近隣社会について調べる(90分)
第15回	まとめ：家族社会学の射程	【現代の家族】	今までのノートを目を通しておく(120分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

- 【書名】『21世紀家族へ 家族の戦後体制の見かた・越えかた』
 【著者】落合恵美子著
 【出版】有斐閣
 2008年
- 【書名】『家族社会学を学ぶ人のために』
 【著者】井上真理子編
 【出版】世界思想社 2010年
- 【書名】『日本型近代家族?どこから来てどこへ行くのか?』
 【著者】千田有紀著
 【出版】勁草書房 2011年

上記到達目標の評価の方法

期末レポート…(70%)
 平常点…(30%)

履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	地域社会学
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	6thメジャー (3年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ パン ジュイン	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	都市と農村の関係、地域社会学に関する基礎的な知識を得ることができる。
授業概要	本講義では、都市-農村関係の地域社会学を概説する。具体的には、都市と農村に関する社会学の基礎理論を検討し、まちづくり、エスニシティ、過疎化、地方創生と住民自治などのトピックスを中心に分析を行う。また、研究方法としてのフィールドワークを説明し、滋賀、京都でフィールドワークを実施する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題 (予習・復習)
第1回	オリエンテーション	講義の進め方について説明	シラバスを読んで講義の流れを理解する。(30分)
第2回	地域社会学の視座	地域と地域社会	「地域」の意味を調べる(90分)
第3回	日本農村社会学の展開	農村社会学	参考書を読む(90分)
第4回	シカゴ学派の都市社会学	都市社会学	参考書を読む(90分)
第5回	現代の農村と農民	農村と農民	参考書を読む(90分)
第6回	エスニックコミュニティ	エスニックコミュニティ	エスニックコミュニティの概念を調べる(90分)
第7回	地域創生と住民自治	分権と自治	参考書を読む(90分)
第8回	子どもと地域社会	学校と地域	参考書を読む(90分)
第9回	限界集落の現在	限界集落	参考書を読む(90分)
第10回	まちづくり/むらおこし	まちづくり/むらおこし	参考書を読む(90分)
第11回	グローバリゼーションとローカリティ	グローバリゼーションとローカリティ	グローバリゼーションとローカリティの意味を調べる(90分)
第12回	研究方法としてのフィールドワーク	フィールドワーク	参考書を読む(90分)
第13回	フィールドワーク実施① (グループで行う)	フィールドワーク	グループ討論を経てテーマを決定する(120分)
第14回	フィールドワーク実施② (グループで行う)	フィールドワーク	グループ討論を経てテーマを決定する(120分)
第15回	まとめ (グループ発表)	プレゼンテーション	レジュメ及びPPT作成(120分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	<p>【書名】『新版キーワード地域社会学』 【著者】地域社会学会編 【出版】ハーベスト社 2011年</p> <p>【書名】『地域社会学の現在』 【著者】木下謙治 篠原隆弘 三浦典子編 【出版】ミネルヴァ書房 2002年</p> <p>【書名】『地域の社会学』 【著者】森岡清志編 【出版】有斐閣 2008年</p> <p>【書名】『フィールドワーク 本を持って街へ出よう』 【著者】佐藤郁哉著 【出版】新曜社 1992年</p>

	〔書名〕 『インタビューの社会学 ライフストーリーの聞き方 』 〔著者〕 櫻井厚著 〔出版〕 せりか書房 2002年
上記到達目標の評価の方法	課題／発表／レポート…(80%) 平常点…(20%)

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	現代社会と福祉 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1 semester (1年次春学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 榎本 祐子	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会福祉の意義について歴史から理解する。 ②我が国の社会福祉関連法や制度について理解する。 ③現場の活動から福祉職の実際を理解する。
授業概要	本講義では、社会福祉について以下の内容を学びます。 ・社会福祉の歴史について学び、社会福祉がどのように発展したのかを理解します。 ・現在の我が国の社会福祉の特徴と社会福祉関連法や制度について理解します。 ・福祉に関する現場での活動の実際から福祉職の実際を学びます。 これらの内容を通して今後、社会福祉がどのようにあるべきなのか自分なりの考えを持つことができるようになります。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 社会福祉とは	【社会福祉の概念】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第2回	社会福祉の歴史の変遷	【慈善事業【社会事業】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第3回	子ども家庭支援と社会福祉	【エンゼルプラン】 【子ども・子育て支援新制度】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第4回	社会福祉の制度と法体系	【広義の社会福祉】 【狭義の社会福祉】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第5回	社会福祉行財政と実施機関	【福祉事務所】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第6回	社会福祉施設	【児童福祉施設】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第7回	社会福祉の専門職	【社会福祉士】 【保育士】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第8回	社会保険制度①	【健康保険制度】 【年金制度】 【労災保険制度】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第9回	社会保険制度②	【介護保険制度】 【雇用保険制度】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第10回	相談援助の理論、意義、機能	【倫理】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分)

			復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第11回	相談援助の対象、課程、方法、技術	【ケースワーク】【ケースマネジメント】【ケアマネジメント】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第12回	社会福祉における利用者保護と実際	【利用者の権利】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第13回	社会福祉の実際① 子育て支援	【地域子ども・子育て支援】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第14回	社会福祉の実際② 更生保護制度	【犯罪】【非行】	予習：プリントを読む。福祉に関する新聞記事を読む。(90分) 復習：学んだことを確認し、それに関する文献の購読。(90分)
第15回	まとめ	【今後の展望】	予習：レポートの素材を調べる(90分) 復習：レポート対策(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…60% 課題レポート…20% 平常点(受講態度等)…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	バズセッション、ミニッツペーパー、ワールドカフェなどアクティブラーニングを実施する。

講義名	現代社会と福祉Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2 semester (1年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 「予測できる災害」と「予測できない災害」への「備え」について理解できる 2. 阪神・淡路大震災や東日本大震災、そして直近の西日本大豪雨災害等との比較から、しかるべき「備え」ができる 3. 保育所・幼稚園、学校、そして学生個人における自宅での「備え」を学ぶことができる
授業概要	大規模災害が続くわが国において、保育所や幼稚園、小学校等の福祉・教育機関で働くことが予想される学生に対し、これらの施設が大規模災害時にどのような「備え」が必要であり、また過去の災害のなかから何を教訓として導き出せるのか、図上訓練やハザードマップ作り等を通じて、災害時への「備え」を図る

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【大規模災害、地震、津波、浸水】	予習：最近の災害を振り返る(90分) 復習：災害への「備え」について整理する(90分)
第2回	最近の大規模災害の特徴①西日本大豪雨災害	【地震、津波】	予習：「予測できる災害」についての知識(90分) 復習：「地震」、「津波」への備え(90分)
第3回	最近の大規模災害の特徴②巨大台風等風水害	【浸水、洪水】	予習：予測できない災害について整理する(90分) 復習：「洪水」、「浸水」への備え(90分)
第4回	東日本大震災の概要①	【未曾有の大災害、地震、津波】	予習：東日本大震災の被害規模(90分) 復習：東日本大震災の被害状況と課題(90分)
第5回	東日本大震災の概要②	【原発、放射能汚染】	予習：東日本大震災の課題(90分) 復習：復旧・復興の課題(90分)
第6回	保育所・幼稚園での津波事故判例の整理①	【幼稚園での津波事故判例】	予習：子どもにとって大規模災害の何が問題(90分) 復習：専門家の指導義務・避難させる義務(90分)
第7回	保育所・幼稚園での津波事故判例の整理②	保育所・幼稚園での津波事故判例の整理②	予習：保育所での避難のあり方(90分) 復習：保育所での防災の課題(90分)
第8回	大規模災害からどう避難弱者を守るのか DVD	【災害弱者、避難弱者】	予習：避難弱者とは誰か(90分) 復習：高知県での避難のあり方と仕組み(90分)
第9回	阪神・淡路大震災の特徴①	【都市型の直下型地震、火災】	予習：阪神・淡路大震災の被害規模(90分) 復習：阪神・淡路大震災の被害状況と課題(90分)
第10回	阪神・淡路大震災の特徴②	【都市部、復興・復旧】	予習：阪神・淡路大震災の課題(90分) 復習：復旧・復興の課題(90分)
第11回	事業継続計画と図上訓練①	【図上訓練とは、BCP】	予習：図上訓練とはなにか(90分) 復習：どこのシーンが書ききれなかったか(90分)
第12回	事業継続計画と図上訓練②	【都市部、復興・復旧】	予習：図上訓練の課題(90分) 復習：どこが最も難しかったか(90分)
第13回	保育所・幼稚園での「避難」のあり方	【避難、災害弱者】	予習：保育所・幼稚園での避難のあり方(90分) 復習：避難する上での課題(90分)
第14回	避難弱者という視点と、「避難」の視点	【避難、避難弱者、災対法】	

			予習：地域のハザードマップ作り(90分) 復習：地域独自の地理的リスクが理解できたか(90分)
第15回	まとめ	【原発再稼働、原子力】	予習：大規模災害への「備え」について(90分) 復習：レポート課題へのテーマ設定(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…50% ミニレポート…30% 平常点…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	社会調査論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3セメスター（2年次春学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 榎本 祐子	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<p>①社会調査の意義、必要性を理解する。 ②量的調査の基礎を理解し、調査結果を読み取ることができるようになる。 ③質的調査の基礎を理解し、調査結果を読み取ることができるようになる。</p>
授業概要	<p>社会調査は、2009年4月1日から施行された社会福祉士養成のための新しい教育カリキュラムの中で新たに独立した科目として位置付けられたものである。 社会福祉士が行う相談援助と社会調査は密接不可分な関係にあり、社会福祉士として社会調査について正しく理解し、相談援助にその知識を活用することが必要になってくる。そこで本講義では社会調査の意義、目的、方法、調査結果の解釈について学ぶ。 なお、本講義は社会福祉士取得のみならず広く教育・福祉の社会調査を実施したり、分析結果を理解するのに役立つ内容である。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 社会調査とは	社会調査とは	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第2回	社会調査の概要① 社会調査の意義と目的、社会調査の対象と方法	量的調査 質的調査	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第3回	社会調査の概要② 社会調査を取り巻く状況、統計法の概要	貧困調査 ニーズ調査	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第4回	量的調査① 調査課題の検討	調査課題の検討	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第5回	量的調査② 調査票の作成 質問項目の作成	調査の手順	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第6回	量的調査③ 調査票の作成 フェイスシート	目的、対象、方法	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第7回	量的調査④ 質問紙の体裁を整える	概念、概念操作、調査項目	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第8回	量的調査⑤ 調査票の配布と調査の実施	調査仮説、作業仮説、変数、ワーディング	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第9回	量的調査⑥ データ分析	基本統計量	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第10回	量的調査⑦ データ分析	単純集計、クロス集計	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第11回	量的調査⑧ 結果発表	ちらばり、相関係数	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第12回	文献研究	論文検索	

			予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第13回	質的調査① 課題の検討	倫理綱領、個人情報	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第14回	質的調査② KJ法	KJ法	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)
第15回	質的調査③ 発表	インタビュー 参与観察	予習：教科書を読む(90分) 復習：学んだことを確認し、理解できない点は次回質問する(90分)

テキスト	[書名] 『社会調査の基礎(第3版)』 [著者] 社会福祉士養成講座編集委員会 編著 [出版] 中央法規出版 2014 [ISBN] 978-4-8058-3760-3 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	授業内課題…(50%) 最終レポート課題…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	社会調査の内容は非常に難しいです。できるだけわかりやすく説明しますが、予習・復習は絶対に欠かせません。とくに授業で学んだ内容は次の授業までにしっかりと復習して内容を理解しておく必要があります。授業ごとに学んだ内容を自分のものにしておくことが社会福祉士資格取得の一番の近道です。みなさんが確実に授業内容をものにできるようにアクティブラーニングを実施します。
備考	本講義ではできるだけみなさんに興味、関心を持っていただけるような授業展開を心掛けたいと思っています。毎回課題を出しますので欠席をすると課題に関する点数がつかなくなります。やむを得ない事情がない限り欠席しないようにしてください。

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	社会福祉援助技術論 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4th Master (2年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<p>①ソーシャルワーカーの役割と意義について理解できる。 ②相談援助の理念、概念、範囲を理解できる。 ③相談援助専門職としての権利擁護、倫理について理解できる。 ④総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解できる。</p>
授業概要	<p>講義を通じて、社会福祉士に必要なソーシャルワークの役割や歴史を学び、実践において必要な基本となる価値、知識、技術について学習する。また、適宜、視聴覚教材などを活用しそれに対する意見の共有化や毎回の振り返りのテストなどを実施することで知識の定着をはかる。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション（本科目の位置づけと概要）	【ソーシャルワーク、相談援助】	予習：シラバスを読む(90分) 復習：オリエンテーション内容の再読(90分)
第2回	社会福祉士の役割と意義	【社会福祉士及び介護福祉士法、社会福祉士の専門性】	予習：社会福祉士の役割と意義について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：社会福祉士の役割と意義についての語句を覚える(90分)
第3回	精神保健福祉士の役割と意義	【精神保健福祉士法、精神保健福祉士の専門性】	予習：精神保健福祉士の役割と意義について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：精神保健福祉士の役割と意義についての語句を覚える(90分)
第4回	相談援助の概念と範囲	【ソーシャルワークに係る各種の定義、ソーシャルワークの形成過程】	予習：相談援助の概念と範囲について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の概念と範囲についての語句を覚える(90分)
第5回	相談援助の理念①（人権尊重、社会正義）	【人権尊重、社会正義】	予習：相談援助の理念(人権尊重、社会正義)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の理念(人権尊重、社会正義)についての語句を覚える(90分)
第6回	相談援助の理念②（利用者本位と尊厳の保持）	【本人の意思、人間の尊厳、援助観】	予習：相談援助の理念(利用者本位と尊厳の保持)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の理念(利用者本位と尊厳の保持)についての語句を覚える(90分)
第7回	相談援助の理念③（自立支援）	【利用者本位】	予習：相談援助の理念(自立支援)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の理念(自立支援)についての語句を覚える(90分)
第8回	相談援助の理念④（社会的包摂）	【社会的排除、社会的包摂】	予習：相談援助の理念(社会的排除、社会的包摂)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の理念(社会的排除、社会的包摂)についての語句を覚える(90分)
第9回	相談援助の理念⑤（ノーマライゼーション）	【ノーマライゼーション】	予習：相談援助の理念(ノーマライゼーション)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の理念(ノーマライゼーション)についての語句を覚える(90分)
第10回	相談援助における権利擁護の意義	【権利擁護の概念と範囲、アドボカシー】	予習：相談援助における権利擁護の意義について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助における権利擁護の意義についての語句を覚える(90分)
第11回		【社会福祉施設、機関、専門職】	

	相談援助に係る専門職の概念と範囲		予習：相談援助に係る専門職の概念と範囲について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助に係る専門職の概念と範囲についての語句を覚える(90分)
第12回	専門職の倫理と倫理的ジレンマ	【葛藤、倫理的判断、判断のプロセス】	予習：専門職の倫理と倫理的ジレンマについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：専門職の倫理と倫理的ジレンマについての語句を覚える(90分)
第13回	総合的かつ包括的な援助	【スペシャリスト、ゼネラリスト】	予習：総合的かつ包括的な援助について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：総合的かつ包括的な援助についての語句を覚える(90分)
第14回	多職種連携の意義と内容	【葛藤、倫理的判断、判断プロセス】	予習：多職種連携の意義と内容について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：多職種連携の意義と内容についての語句を覚える(90分)
第15回	まとめ	【相談援助とは】	予習：半年間のノートを精読(90分) 復習：半年間で覚えていない語句を覚える。(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	小テスト…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%) (レスポンスペーパーの作成、積極的な授業参加)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	質問法などのアクティブラーニングを実施する。
備考	特になし

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	社会福祉援助技術論Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	6 semester (3年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<p>①相談援助における人と環境の交互作用に関する理論について理解できる。</p> <p>②相談援助の対象とさまざまな実践モデルについて理解できる。</p> <p>③相談援助の過程とそれにかかわる知識と技術について理解できる。</p>
授業概要	<p>講義を通じて、社会福祉士に必要なソーシャルワークの価値、知識、技術について学習する。また、対人援助に必要なセンスについても学習する。また、適宜、視聴覚教材などを活用しそれに対する意見の共有化や毎回の振り返りテストなどを実施することで知識の定着をはかる。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション (人と環境の相互作用)	【システム理論】	予習：シラバスを読む(90分) 復習：オリエンテーション内容について覚える(90分)
第2回	相談援助の対象	【対象の概念と範囲】	予習：相談援助の対象の概念について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助の対象の概念についての語句を覚える(90分)
第3回	様々な実践モデルとアプローチ	【実践モデル、アプローチ】	予習：様々な実践モデルとアプローチについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：様々な実践モデルとアプローチについての語句を覚える(90分)
第4回	相談援助のプロセス	【インテーク、アセスメント、プランニング、実施、モニタリング、支援の終結】	予習：相談援助のプロセスについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助のプロセスについての語句を覚える(90分)
第5回	相談援助における援助関係	【援助関係の意義、概念、形成方法】	予習：相談援助における援助関係について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助における援助関係についての語句を覚える(90分)
第6回	相談援助のための面接技術	【面接技術の意義、目的、方法、留意点】	予習：相談援助のための面接技術について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助のための面接技術についての語句を覚える(90分)
第7回	ケースマネジメントとケアマネジメント、アウトリーチ	【ケースマネジメント、ケアマネジメント、アウトリーチ】	予習：ケースマネジメント、ケアマネジメント、アウトリーチについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：ケースマネジメント、ケアマネジメント、アウトリーチについての語句を覚える(90分)
第8回	相談援助における社会資源の概要	【社会資源の活用、調整、開発】	予習：相談援助における社会資源の概要について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：復習：相談援助における社会資源の概要についての語句を覚える(90分)
第9回	ネットワーキング	【インフォーマル、フォーマル】	予習：ネットワーキングについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：ネットワーキングについての語句を覚える(90分)
第10回	グループワーク	【グループワーク、グループダイナミクス】	予習：グループワークについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：グループワークについての語句を覚える(90分)
第11回	スーパービジョン	【スーパーバイザー、スーパーバイジー】	予習：スーパービジョンについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：スーパービジョンについての語句を覚える(90分)

第12回	記録	【記録の意義、目的、方法、留意点】	予習：相談援助における記録について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助における記録についての語句を覚える(90分)
第13回	個人情報の保護	【個人情報保護法】	予習：個人情報保護法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：個人情報保護法についての語句を覚える(90分)
第14回	相談援助における情報通信技術の活用	【情報通信技術の意義、支援の概要】	予習：相談援助における情報通信技術について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助における情報通信技術の活用についての語句を覚える(90分)
第15回	まとめ	【振り返り】	予習：半年間のノートの熟読(90分) 復習：ノートを読み、覚えていないところを覚える。(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	小テスト…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)リフレクションペーパーの作成、積極的な授業の参加
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	グループディスカッションや発表などのアクティブラーニングを実施する。



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	地域福祉論 A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	5セメスター（3年次春学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 眞弓 洋一	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<p>1. 暮らしの場である地域を基盤にした実践を通して、課題やニーズの把握、企画、提案、実施、点検という、取り組み過程を知ることから、地域福祉活動の方法を学ぶことができる。</p> <p>2. 地域福祉の主体は住民であることから、様々な状況にある住民と住民、住民と専門職の間には、支援する側と支援される側という一方通行の支援関係では成り立たないことを知ること、支援対象の持つ力やその可能性に目を向けることを学ぶことができる。</p> <p>3. 地域福祉の一環で取り組まれる相談事業の実践から、複合的な要素が絡み合う地域課題の解決には、その要素に関わる多様な人の協働が必要であることを学ぶことができる。</p>
授業概要	<p>びわこ学院大学のある「滋賀県」「東近江市」で実際に取り組まれている内容から、コミュニティワークを理解するため、レジュメや取り組みに関する資料、テキストを用いて講義を行う。様々な地域課題に対して、ディスカッションやその報告を通して、学生自身が自分事として主体的に考える時間を設けることもある。地域福祉活動に取り組む住民や、専門職など現場の人の思いを聴く機会も設ける。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	授業の概要 地域福祉という考え方	【授業のすすめ方】 【地域福祉とは】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第2回	地域福祉を推進する 人々や組織・団体	【地域福祉の主体と担い手】 【自治会（町内会）】 【地域住民とボランティア】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第3回	地域福祉を推進する 人々や組織・団体	【社会福祉協議会】 【ボランティアコーディネーター】 【共同募金】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第4回	地域福祉を推進する 人々や組織・団体	【専門職と地域福祉】 【社会福祉施設】 【NPO】 【当事者組織】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第5回	地域福祉の推進方法 【社会福祉協議会職員 の実践から】	【ニーズキャッチ】 【地域分析】 【住民懇談】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第6回	地域特性に応じた地域 福祉の展開 【住民活動と専門職連 携の実践から】	【住民主体の活動】 【小地域ネットワーク】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第7回	地域福祉と包括的支援 体制 【多職種連携と組織間 協働の実践から】	【連携】 【協働】 【生活支援体制整備事 業】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第8回	地域福祉と生活困窮者 自立支援 【生活困窮者支援の実 践から】	【総合相談】 【アウトリーチ】 【生活困窮者自立支援】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第9回	子どもと地域福祉		授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分）

		【社会的養護】 【子どもの居場所】 【子ども食堂】	受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第10回	地域福祉と権利擁護	【総合相談】 【日常生活自立支援事業】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第11回	災害と地域福祉 【被災地支援実践者から学ぶ】	【災害ボランティアセンター】 【災害支援】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第12回	地域組織化と資源開発 【住民主体活動の実践から】	【地域組織化】 【生活支援活動】 【支え合い】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第13回	地域組織化の実践 【障がい児の保護者会の実践から】	【当事者支援】 【エンパワメント】 【社会的包摂】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第14回	地域福祉活動計画づくり	【地域福祉計画】 【地域福祉活動計画】 【福祉教育】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）
第15回	・コミュニティワーカーの働きかけ 【ロールプレイを通して】 ・まとめ	【地域福祉の方法】 【コミュニティワーカー】	授業計画や授業内容から、疑問点をテキストや資料から調べたり、質問をノートに整理するなどの予習をしておく（90分） 受講した内容の理解と予習した疑問や質問をクリアにし、自身で整理をするなど復習をしておく（90分）

テキスト	【書名】『新版 よくわかる地域福祉』（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ） 【著者】上野谷加代子 ほか 【出版】ミネルヴァ書房 【ISBN】978-4623085927 【価格】2,400円+税
参考書・参考資料等	随時、授業で紹介する。
上記到達目標の評価の方法	筆記試験…(60%) 課題…(20%) 平常点(授業への積極的参加姿勢)…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	アクティブラーニング（ディスカッション）

講義名	地域福祉論B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	6セメスター（3年次秋学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 山下 憲昭	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	① 生活問題を抱え孤立していく家庭、つながりのない地域でのくらしづらさをとらえることができる。 ② 住民による活動から、住民が持つその地域、そこにくらす人々へのおもいを学ぶことができる。 ③ 生活諸課題を個人のこととしてではなく、社会の構造から生まれる生活問題としてとらえ、教育、社会福祉の専門職として地域福祉的生活問題解決の重要性を学ぶことができる。
授業概要	この授業では、社会の変化をふまえ、くらしの場での住民主体による最近の活動や伝説的な活動などをおして、地域福祉活動への理解を深め、地域福祉活動における行政や、教育関係者、社会福祉関係者などが担う役割を学習する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【地域福祉、地域福祉活動とは】	予習：シラバス読了・問題意識の整理(90分) 復習：レポート(90分)
第2回	社会構造の変化と深刻化する生活問題	【産業構造の変化、家族形態の変化、地域環境の変化と様々な生活問題】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第3回	市町村社会福祉協議会の地域福祉活動計画と地域福祉推進	【地域福祉活動計画が住民の活動や行政による福祉サービスの整備との関係をとら】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第4回	地域包括ケアと地域福祉活動	【介護保険制度による地域包括ケアの地域での展開と住民による地域福祉活動】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第5回	地域トータルケアシステムと地域福祉活動	【地域での福祉サービス等の供給体制の整備と住民主体の地域福祉活動】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第6回	住民による地域福祉活動① 学区社会福祉協議会の活動から	【くらしの場での地域組織化】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第7回	住民による地域福祉活動② 学区社会福祉協議会の活動から	【地域サロンや子育てサロン、送迎活動や日常生活支援など住民の活動実践と課題】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第8回	住民による地域福祉活動③ 学区社会福祉協議会の活動から	【学区社会福祉協議会の役割や体制、住民による運営】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第9回	住民による地域福祉活動④ 学区社会福祉協議会の活動から	【学区社会福祉協議会と専門機関・施設、地域団体との連携、協力】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第10回	協働のまちづくりと地域福祉実践①	【協働のまちづくりなど住民が行うまちづくり・住民自治と地域福祉活動】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第11回	協働のまちづくりと地域福祉実践②	【新たなまちづくり組織と既存の住民自治組織、社会福祉協議会などの住民団体】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第12回	茗荷村見聞記から学ぶ	【田村一二著の「茗荷村見聞記」に学ぶ地域福祉】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第13回	お母さん9時運動にみる地域福祉活動の展開①	【地域福祉活動の伝説的な事例である「お母さん9時運動」女性問題、子育て問題、高齢者問題、就労の問題など生活問題の解決に取り組む実践】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)

第14回	お母さん9時運動にみる地域福祉活動の展開②	【地域福祉活動の伝説的な事例である「お母さん9時運動」と地域組織化】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
第15回	これからの福祉のまちづくり	【実践をふまえこれからの地域福祉活動を考える】	予習：配付資料確認(90分) 復習：レポート(90分)
テキスト	毎回資料を配付する。		
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・『社会福祉の基礎理論』 林・安井編著 ミネルヴァ書房 2011年 ・『よくわかる地域福祉第5版』 上野谷ほか編著ミネルヴァ書房 2012年 ・随時、授業で紹介する。 		
上記到達目標の評価の方法	定期試験 … (60%) 班別討議・役割 … (20%) レポート課題 … (20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	地域福祉論A		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	福祉行財政論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4th Master (2年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 澤 和清	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①福祉行財政の実施体制について理解できる ②福祉行財政の実際について理解できる ③福祉の相談システムについて理解できる
授業概要	本講義では、「福祉行政、福祉財政とは何か」の基本理解から始め、国と自治体との関係、行政の仕組みなど福祉行政について解説するとともに、福祉の給付や仕組みを支える国・地方自治体別の財政の仕組みについて概説する。加えて、標準的な福祉の相談過程と、これを支える専門機関や地域レベルでの相談システムについて概説する。教科書以外に必要な資料を配布する。また、授業毎に「本日の学習ポイント」を配付するとともに、リアクションペーパー（講義に関する感想・意見・質問）の提出を求め、次の授業でフィードバックする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス		復習：配付資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第2回	福祉行政、福祉財政とは何か	【福祉政策】 【財源】	復習：配付資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第3回	福祉行政における国と地方自治体の関係、役割	【地方分権】 【法定受託事務】 【三位一体の改革】	予習：教科書P35～41を読み、要点をノートに記載する(90分)
第4回	社会福祉の法制度	【法と運用】	予習：教科書P42～46を読み、要点をノートに記載する(90分)
第5回	福祉行政の組織	【社会福祉の実施体制】	予習：教科書P47～55を読み、要点をノートに記載する(90分)
第6回	社会福祉基礎構造	【社会福祉関係法】 【社会福祉基礎構造改革】 【措置から契約へ】	予習：教科書P56～64を読み、要点をノートに記載する(90分)
第7回	福祉財政（1）－財政と社会福祉－	【財政】	予習：教科書P65～70を読み、要点をノートに記載する(90分)
第8回	福祉財政（2）－国の財政－	【社会保障関係費と社会保障給付費】	予習：教科書P71～73を読み、要点をノートに記載する(90分)
第9回	福祉財政（3）－地方自治体の財政－	【地方公共団体の歳出と民生費】	予習：教科書P74～77を読み、要点をノートに記載する(90分)
第10回	福祉財政（4）－民間の社会福祉財政、社会福祉サービスにおける利用者負担－	【共同募金】 【応益負担】 【応能負担】	予習：教科書P78～80を読み、要点をノートに記載する(90分)
第11回	社会福祉基礎構造改革と相談過程・相談体制	【社会連帯】 【ワストップサービス】 【連携】	予習：教科書P81～89を読み、要点をノートに記載する(90分)
第12回	福祉行政の専門諸機関	【福祉事務所などの専門機関】	予習：教科書P90～95を読み、要点をノートに記載する(90分)
第13回	地域の相談システム	【地域包括支援センターなどの相談支援体制】	予習：教科書P96～99を読み、要点をノートに記載する(90分)
第14回	福祉行政における専門職の役割	【国家資格】 【公的資格】 【認定資格】 【任用資格】 【配置機関】	予習：教科書P100～105を読み、要点をノートに記載する(90分)
第15回	まとめ		復習：配付資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第16回			

テキスト	[書名] 『新・社会福祉士養成講座10『福祉行財政と福祉計画』 第5版』 [著者] 社会福祉士養成講座編集委員会 [出版] 中央法規出版株式会社 [ISBN] 978-4-8058-5430-3 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	講義



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	福祉計画論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3 semester (2年次春学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 澤 和清	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①福祉計画が登場した背景やその考え方について、福祉行財政との関連で理解できる。 ②市町村を念頭においた福祉計画の意義とその技法について理解できる。 ③さまざまな福祉計画の実際について、福祉の実践の観点から理解できる。
授業概要	本講義では、「福祉計画とは何か」の基本理解から始め、「福祉計画の目的や意義」を構造的な側面から、「福祉計画の理論と技法」を主に機能的な側面から概説し、実践としての福祉計画を計画者の視点に立って学ぶ。更に、老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画、地域福祉計画の分野別計画について、その歴史的経緯や概要、あるいは計画の課題や展望等を概説する。各福祉計画の「共通性」と「異質性」を考えながら計画への理解を進める。教科書以外に必要な資料を配布する。また、授業毎にリアクションペーパー（講義に関する感想・意見・質問）の提出を求め、次回の授業でフィードバックする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス		復習：配付資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第2回	福祉と制度、福祉計画とは何か	【福祉の概念】 【社会福祉の概念】 【社会保障制度】	予習：教科書P1～10を読み、要点をノートに記載する(90分)
第3回	社会福祉の動向－福祉の法制度の展開－	【社会福祉の法制度の発展過程】	予習：教科書P11～P24を読み、要点をノートに記載する(90分)
第4回	福祉計画の概要	【法定計画】 【行政計画】 【分野別中長期計画】	予習：教科書P25～P33を読み、要点をノートに記載する(90分)
第5回	福祉計画と福祉行財政	【上位計画】 【下位計画】 【予算措置】	復習：配布資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第6回	福祉計画の目的と意義	【制度基準】 【独自基準】 【計画期間】	予習：教科書P107～P120を読み、要点をノートに記載する(90分)
第7回	福祉計画の主体と策定方法	【計画策定委員会】 【集合ニーズ】 【パブリックコメント】	予習：教科書P121～P129を読み、要点をノートに記載する(90分)
第8回	計画策定のプロセスとニーズ把握	【PDSサイクル】 【ローリング方式】 【合意形成過程】	予習：教科書P130～P147を読み、要点をノートに記載する(90分)
第9回	福祉計画の評価と住民参加の意義	【プログラム評価】 【ベンチマーク】 【意思決定過程】 【ガバナンス】	予習：教科書P148～P162を読み、要点をノートに記載する(90分) 復習：配布資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第10回	福祉計画の分析の視点	【計画者の視点】	予習：教科書P163～P169を読み、要点をノートに記載する(90分)
第11回	老人福祉計画 介護保険事業計画	【ゴールドプラン】 【地域計画】 【老人福祉法】 【介護保険法】	予習：教科書P170～P194を読み、要点をノートに記載する(90分)
第12回	障害者計画 障害福祉計画 障害児福祉計画	【障害者基本法】 【障害者総合支援法】 【児童福祉法】	予習：教科書P195～P226を読み、要点をノートに記載する(90分)
第13回	次世代育成支援行動計画 子ども・子育て支援事業計画	【エンゼルプラン】 【社会連帯】 【次世代】 【次世代育成支援対策推進法】 【子ども・子育て支援法】	予習：教科書P227～P244を読み、要点をノートに記載する(90分)
第14回	地域福祉計画	【法制化】 【地域主権社会】 【総合化】 【上位計画】 【社会福祉法】	予習：教科書P245～P257を読み、要点をノートに記載する(90分)

		復習：配布資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
第15回	まとめ	復習：配布資料を読み、要点をノートに記載する(90分)
テキスト	[書名] 『新・社会福祉士養成講座10『福祉行財政と福祉計画』 第5版』 [著者] 社会福祉士養成講座編集委員会 [出版] 中央法規出版株式会社 [ISBN] 978-4-8058-5430-3 [価格] 2,200円+税	
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。	
上記到達目標の評価の方法	期末定期試験…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)	
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし	
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし	
その他特記事項	講義	



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	福祉経営論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4thメジャー (2年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 横田 章夫	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①福祉サービスに係る組織や団体について説明できる ②福祉サービスの組織と経営に関する基礎理論を説明できる ③福祉サービスの経営管理について説明できる ④福祉サービス組織経営のあり方や課題について認識することができる
授業概要	社会福祉制度の改革が進む中において、新たな福祉サービスの提供体制が求められている。福祉サービスの組織や経営に関する知識と技術について理解し、今後のあるべき組織体制や経営のありようについて考える。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題 (予習・復習)
第1回	福祉経営論の必要性	社会福祉制度改革、福祉サービス	予習：シラバスの確認 (90分) 復習：学習課題の整理 (90分)
第2回	福祉サービスと制度の歩み	経営環境、倫理、社会市場	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第3回	福祉サービスの提供組織	法人の基本的性格、意義、組織体制	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第4回	社会福祉法人	社会福祉法人の性格、組織	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第5回	NPO法人、医療法人等	各法人の性格、組織	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第6回	福祉サービスの組織と経営	経営戦略、事業計画	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第7回	管理運営の基礎理論	組織、管理の意味	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第8回	集団の力学に関する基礎理論	集団の力学、モチベーション、リーダーシップ	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第9回	福祉サービスのサービス管理①	サービスマネジメント、サービスの価値、質、サービス評価	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第10回	福祉サービスのサービス管理②	福祉サービスのあり方、現状と課題、コンプライアンス、ガバナンス、リスクマネジメント	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第11回	人事管理と労務管理①	人事管理、労務管理	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第12回	人事管理と労務管理②	人材育成、労働環境整備	予習：資料を読み、疑問点を調べる (90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる (90分)
第13回	会計管理と財務管理	財源、財務諸表	

			予習：資料を読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第14回	福祉サービスの情報管理	情報管理、戦略的広報	予習：資料を読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第15回	今後求められる福祉サービス組織体制と経営のありよう(全体まとめ)	福祉サービスシステムや主体の変化、連携と競合、次代の経営モデル	予習：これまでの復習(90分) 復習：これまでの講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末試験…(50%) 平常点…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	社会保障論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3セメスター（2年次春学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①「社会保障と税の一体改革」とは何を目的とし、何に頓挫しているのかが理解できる ②社会保障の枠組みと、利点そして限界を理解することができる ③あるべき社会保障の在り方について、学生個々が意見や考えを習得することができる
授業概要	「社会保障と税の一体改革」とはどこを着地点として考えているのか。また、富裕層と貧困層という国民生活の二極分化が社会問題化しており、国民の格差社会への関心が高まっている。格差は正と生活のセーフティネットの必要性への認識が増してきている。さらに、少子高齢社会の出現は、年金制度の抜本的改革、および、介護や育児の社会化等を加速度的に進展させる要因となった。社会保障はこれらの課題に対応する国の政策であり、所得保障、医療保障、介護保障そして社会福祉サービスの体系的理解を基本に、「なぜ、日本の国家予算の4分の1を社会保障費に配分するのか」を考えてみる。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 社会保障論の講義の進め方	【社会保障とはいったい何か】	予習：社会保障とは何か(90分) 復習：私たちの生活と社会保障との関係(90分)
第2回	社会保障とは、何か？最近話題となっているテーマから ①年金問題	【社会保障と税の一体改革とはなにか】	予習：年金とは(90分) 復習：年金をめぐるいまの課題が理解できたか(90分)
第3回	社会保障とは、何か？最近問題となっているテーマから ②医療問題	【今の社会と社会保障の必要性】	予習：医療とは(90分) 復習：医療をめぐるいまの課題が理解できたか(90分)
第4回	社会保障とは、何か？最近問題となっているテーマから ③介護問題	【「高福祉高負担」か「低福祉低負担」か】	予習：介護とは(90分) 復習：介護をめぐるいまの課題が理解できたか(90分)
第5回	社会保障の枠組みと、福祉との関係	【お金で解決できない問題について】	予習：社会保障と社会福祉との関係(90分) 復習：お金で解決できる問題とそうでない問題(90分)
第6回	高齢者になった場合の社会保障制度	【介護が社会保障のキーワード】	予習：年をとる、ということとは(90分) 復習：高齢者になったときの問題とは(90分)
第7回	介護と社会保障 ① その歴史と成立経緯	【超高齢社会に向けた舵取りとは】	予習：介護政策の歴史(90分) 復習：介護保険誕生の経緯が整理できたか(90分)
第8回	介護と社会保障 ② 介護保険の仕組み	【介護保険法制度の仕組み】	予習：介護保険法制度とは(90分) 復習：介護保険の制度が理解できたか(90分)
第9回	先進諸外国における介護問題 ビデオ学習	【先進国と介護の実態】	予習：他国の介護環境は(90分) 復習：介護政策をめぐる他国の状況が理解できたか
第10回	ライフサイクルからみた社会保障との関係 ① 学生によるディスカッション	【社会保障と税の一体改革から】	予習：学生諸君にとって、年金はもらえるのか(90分) 復習：年金制度の仕組みを再確認する(90分)
第11回	ライフサイクルからみた社会保障との関係 ② 学生によるプランマップの作成	【あなたはいったい何にこだわり続けたいのか】	予習：これからの重要な問題(90分) 復習：何に優先順位をおいて生きるのか(90分)
第12回	ライフサイクルからみた社会保障との関係 ③ 学生による報告	【ディベート 討論】	予習：これからの社会保障の課題(90分) 復習：社会保障政策の方向性(90分)
第13回	先進諸外国における社会保障 アメリカ・イギリス	【アメリカ・イギリスの社会保障制度改革】	予習：米・欧の社会保障政策(90分) 復習：ドイツの社会保障政策も参考にして(90分)
第14回			

	先進諸外国における社会保障 北欧諸国・アジア	【スウェーデンは福祉先進国なのか】	予習：北欧・アジアの社会保障政策(90分) 復習：福祉国家の希望と限界(90分)
第15回	社会保障とは(大規模災害も踏まえて)まとめ	【これからの社会保障を徹底討論】	予習：これからの社会保障はどうあるべきか(90分) 復習：レポート課題へのテーマ設定(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…60% 小レポート…20% 平常点(受講態度等)…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	高齢者福祉学概論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4th Master (2年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①いまの高齢者が抱えている問題が理解できる。 ②高齢化に対する法制度的仕組みが理解できる。とくに介護保険制度については、徹底理解。 ③高齢社会への対応と、日本における社会保障制度との関係が理解できる。
授業概要	我が国におけるさまざまな高齢者福祉制度を概観し、今後の高齢者福祉の在り方までを整理する。また、適宜、視聴覚教材などを活用しそれに対する意見の共有化や毎回の振り返りのテストなどを実施することで知識の定着をはかる。社会福祉士国家試験科目である。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【高齢者福祉】	予習：シラバスを読む(90分) 復習：オリエンテーション内容の再読(90分)
第2回	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢	【高齢者の実態】	予習：高齢者実態を文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：高齢者の実態についての語句を覚える(90分)
第3回	高齢者制度の発展過程	【高齢者福祉制度の歴史】	予習：高齢者福祉制度の歴史について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：高齢者福祉制度の歴史についての語句を覚える(90分)
第4回	介護の概念や対象	【概念、範囲、理念、対象】	予習：介護の概念や対象について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護の概念や対象についての語句を覚える(90分)
第5回	介護予防の概要	【介護予防プラン】	予習：介護予防について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護予防についての語句を覚える(90分)
第6回	介護過程の概要	【介護過程の概要、介護の技法】	予習：介護過程について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護過程の概要についての語句を覚える(90分)
第7回	認知症のケア、終末期のケア	【認知症、ターミナルケア】	予習：高齢者福祉制度の歴史について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：高齢者福祉制度の歴史についての語句を覚える(90分)
第8回	介護と住環境	【住宅環境】	予習：介護に関する住環境について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護に関する住環境についての語句を覚える(90分)
第9回	介護保険法	【介護保険法、介護報酬、組織・団体】	予習：介護保険法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護保険法についての語句を覚える(90分)
第10回	介護保険法における専門職の役割と実際	【介護支援専門員】	予習：介護保険法における専門職の役割について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護保険法における専門職の役割と実際についての語句を覚える(90分)
第11回	地域包括支援センターの役割と実際	【地域包括支援センター、組織体系】	予習：地域包括支援センターの役割と実際について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：地域包括支援センターの役割と実際についての語句を覚える(90分)

第12回	老人福祉法	【老人福祉法】	予習：老人福祉法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：老人福祉法についての語句を覚える(90分)
第13回	高齢者虐待の防止、高齢者の要保護者に対する支援などに関する法律	【高齢者虐待防止法】	予習：高齢者虐待防止法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：高齢者虐待防止法についての語句を覚える(90分)
第14回	高齢者、障害者などの移動などの円滑化の促進に関する法律、高齢者の居住の安定に関する法律	【バリアフリー新法、高齢者の住まい法】	予習：バリアフリー新法、高齢者の住まい法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：バリアフリー新法、高齢者の住まい法についての語句を覚える(90分)
第15回	まとめ	【授業の振り返り】	予習：半年間の授業内容についてノートを精読する(90分) 復習：半年間の授業内容で覚えていないところを覚える。(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	小テスト試験…50% レポート…30% 平常点…10%（レスポンスペーパーの作成や積極的な授業参加）
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	質問法、事例検討などのアクティブラーニングを実施する。

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	介護の基本
講義区分	講義
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	6 semester (3年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
教授	烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①高齢者介護についての現状と課題を整理することができる。 ②老いを理解したうえで高齢者支援の具体的方法について理解できる。 ③高齢者福祉に関する法制度を理解し、他機関・多職種連携の手法について理解できる。
授業概要	社会福祉士を目指す学生に対し、高齢者介護をめぐる実情と課題を整理し、次なる「介護」を探ることを目的としている。講義としては、高齢者の実態や介護の現状、介護保険制度下における在宅介護、施設介護、そして老親扶養という視点からはじまり、介護殺人に至るまで、介護を取り巻く今の環境を整理する。 1回～4回までを烏野が担当。 5回～8回までを片山が担当。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	高齢者介護の実態	【要介護高齢者の実態、数量的把握】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第2回	介護殺人から見てくるもの	【介護殺人、家族、孤独、7040】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第3回	介護現場でのリスク	【介護事故、介護裁判、家族責任】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第4回	介護の未来…いったい誰がこれからの介護を担うのか	【介護分野におけるAI化、外国人による介護】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第5回	高齢者の心理と生活	【老い、喪失体験、介護生活】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第6回	高齢者の生活支援とケアプラン	【生活支援、ケアプラン、社会資源】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第7回	高齢者虐待の実態と対応	【高齢者虐待、権利擁護、虐待対応】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)
第8回	高齢者支援に関する専門職の役割と地域連携	【介護保険、他職種・多職種連携】	予習：配布資料の熟読(90分) 復習：課題レポート(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
上記到達目標の評価の方法	①講義への参加 … 20% ②ディスカッション能力 … 30% ③課題レポート … 50%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	質問法や事例検討などのアクティブラーニングを実施する。

講義名	障害児・者福祉論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4thメジャー（2年次秋学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 金子 秀明	びわこ学院大学 教育福祉学部

本科目の到達目標	<p>①戦後の障害者福祉の歴史について概括し説明ができる。</p> <p>②身体障害、知的障害、発達障害、精神障害の障害の様態について理解し説明できる。</p> <p>③障害児・者の教育、就労も含めた地域生活の支援の在り方について、自らも考えることができる。</p>
授業概要	<p>障害児福祉では、母子保健法、児童福祉法を主に、障害の早期発見療育、障害児入所施設の現状の学習を進める。障害者福祉では、障害者福祉の歴史、精神障害者福祉の変遷、国際動向やインクルージョンなど、障害児・者福祉全体にわたる改革動向に触れる。また、講義のなかで実際に精神障害者当事者を招き「当事者が語る地域生活支援について」をテーマに話を聞く機会を設ける。今なお残る偏見や差別、障害があるがゆえの「生きづらさ」について大いに学び、考える機会とする。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 授業を始めるにあたって 障害児者福祉の思想と概念の転換について	【障害児 障害者 障害福祉制度の動向】	予習：テキストP2～17を読み用語の解説をノートに書き出す(90分) 復習：講義のレジュメの読み直し及び感想・質問を記述する(90分)
第2回	胎児及び乳幼児の成長発達と障害の早期発見 成長発達の質的転換期と障がい	【成長発達の指標 障がいの早期発見の指標】	予習：テキストp22～31、p48～49を読み用語の解説をノートに書き出す。(90分) 復習：社会モデルと医学モデルについてレポートにまとめる(90分)
第3回	障害の病因とその生成1 脳性麻痺、ダウン症、自閉症	【脳性まひ】	予習：配布資料とテキストp34～47を読む(90分) 復習：各障害の理解に関する配布資料にテキストを調べ記述する。(90分)
第4回	特論 滋賀の障がい福祉 福祉圏域と市町レベル (自分の生んでいる圏域の実態を所定の書式で調べる)	【障害福祉の先進県 福祉圏】	予習：住んでいる市町の障害者福祉計画を調べる(レポート宿題予定)(90分) 復習：滋賀県の障がい福祉の実態について調べる(90分)
第5回	地域生活支援について考える	【ホームヘルプサービス、グループホーム】	予習：テキストp90～97を読み用語の解説をノートに記述する。(90分) 復習：住んでいる地域のグループホームを調べ次回講義に提出する。(90分)
第6回	自立生活と障害者運動	【自立生活思想の歴史】	予習：テキストp100～113を読み、用語の解説をノートに記述する。(90分) 復習：自立生活に関する事例をレポートにまとめる(90分)
第7回	障害者の就労支援について考える	【福祉的就労と就労支援】	予習：テキストp120～127を読み、就労支援の形態についてノートに記述する。(90分) 復習：関心を持った就労支援事業所について調べレポートにまとめる。(90分)
第8回	障害者差別解消法と社会的偏見について	【偏見、差別、スティグマ】	予習：テキストp138～147を読み予後の解説をノートに記述する。(90分) 復習：差別事例に対する見解をレポートにまとめる。(90分)
第9回	相談支援 当事者と家族支援 ケアマネジメント、ピアカウンセリングなど	【相談支援 ケアマネジメント ピアカウンセリング 相談支援フロー】	予習：テキストp74～79を読み、ケアマネジメントの概念を理解する(90分) 復習：配布した事例の支援方法を考え回答し提出する。(90分)
第10回		【相模原事件 精神障がい者】	予習：配布資料「やまゆり園事件緊急アンケート調査の結果と共に」を読み、講義時に感想を発表

	相模原事件から何をみるか 何を教えているか・レポート執筆と提出		する。(90分) 復習：事件から共生社会に関してレポートにまとめる。(90分)
第11回	日本における精神障がい者の歴史と法律の変遷	【社会防衛の施策から人権尊重と自己決定へ】	予習：資料を読み、法律の背景を調べる。(90分) 復習：当事者の人権についてレポートにまとめる。(90分)
第12回	ライフサイクルにおけるメンタルヘルスの課題 (乳児期～児童期・思春期)	【虐待の実態と対策・いじめ等のメンタルヘルスの課題】	予習：資料の虐待事例に関する読み込みと、感想の提出。(90分) 復習：事例の虐待事件の背景と対策をレポートにまとめる。(90分)
第13回	ライフサイクルにおけるメンタルヘルスの課題Ⅱ（青年期～成人期）	【わが国の労働環境の変化と精神科通院患者の増大の関連及び「自殺対策」】	予習：労働環境の変化について調べ、ノートに記述する。(90分) 復習：職場でのメンタルヘルスの課題とその取り組みについてレポートにまとめる。(90分)
第14回	精神障害各論「うつ病・統合失調症とは」	【精神障害者の生活しづらさとは】	予習：テキストp80～87を読むこと。資料の病気の特徴についてノートに記述する。(90分) 復習：精神障害者の地域生活支援について調べレポートにまとめる。(90分)
第15回	統合失調症当事者が語る「地域生活支援について」：当事者が望む支援者像	【薬の副作用や偏見を超えて「福祉を学ぶ学生に伝えたいこと」】	予習：当事者の方への質問を考え、事前に提出する。(90分) 復習：当実車の話から学んだことをレポートにまとめる。(90分)

テキスト	<p>【書名】『よくわかる障害者福祉』（第6版） 【著者】小澤 温 編 【ISBN】978-4623076444 【価格】2,200円+税</p> <p>必要に応じて適宜プリント配布し、知的障害、身体障害、精神障害の福祉について紹介する。</p>
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	<p>期末筆記試験…(50%) 課題レポート…(30%) 平常点(受講態度等)…(20%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	障がいはもちろんであるが、子どもや家族、福祉、教育全般にかかわる理解が求められるので、それらを含む科目はきちんと学ぶこと。また新聞等も情報として役立つので目配りすること。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	講義終了後に質問、自らの意見や考えをリアクションペーパーに記入してもらおう。積極的な意見交換ができる機会として活用してほしい。アクティブラーニングではゲスト・スピーカーとして精神障がい者当事者を招き「当事者が語る地域生活支援」をテーマに、当事者からみた支援者の姿勢や地域での偏見について学ぶ。また、権利擁護等の事例についてKJ法を活用し、学生の考える支援方法を出し合い、障がい者が地域で暮らすことを支援する多様な方法について学び合う。

講義名	子ども福祉学概論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	2 Semester (1年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 榎本 祐子	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①現在の子ども家庭福祉と歴史の変遷について理解する。 ②子ども家庭福祉の制度やサービスなどの実施体制について包括的に理解する。 ③子ども家庭福祉の現状や課題を理解する。
授業概要	本講義では現在の子ども家庭福祉（児童福祉）を取り巻く様々な問題（児童虐待、少子高齢化、待機児童、子育て家庭の孤立、子どもの貧困など）について学ぶ。また、これらの諸問題に対して我が国ではどのような子ども家庭福祉の制度やサービスがあるのかについても包括的に理解する。これらを踏まえ、今後の課題等について考える。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション、子ども家庭福祉とは何か	【子ども】 【子ども家庭福祉】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第2回	子ども家庭福祉とは何か、子どもを取り巻く環境とライフステージ	【子育て・子育てのライフステージ】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第3回	子ども家庭福祉の法体系とサービス体系	【児童福祉6法】 【児童虐待の防止等に関する法律】 【子ども・子育て支援関連3法】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第4回	子ども家庭を支える方法、子ども家庭福祉を支える考え方	【ソーシャルワーク】 【ケースマネジメント】 【保育技術】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第5回	子ども家庭福祉の歴史の変遷	【孤児・棄児】 【児童保護】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第6回	子ども家庭福祉のしくみ1 行財政のしくみ	【国と地方の役割分担】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第7回	子ども家庭福祉のしくみ2 児童相談所と市町村の役割分担	【児童相談所】 【家庭児童相談室】 【要保護児童対策地域協議会】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第8回	子ども家庭福祉のしくみ3 子ども家庭福祉に関わる専門職と機関	【保健所・保健センター】 【学校・教育委員会】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第9回	社会的養護1 社会的養護	【児童相談所】 【乳児院】 【児童養護施設】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第10回	社会的養護2 家庭的養護	【里親制度】 【養子縁組制度】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)

第11回	子ども家庭福祉の実際1 子育て支援、乳幼児の保育と教育、学齢期の教育・福祉支援、子どもの健全育成	【保育】【教育】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第12回	子ども家庭福祉の実際2 子ども虐待、子どもの貧困、DV、ひとり親家庭	【子ども虐待】【子どもの貧困】 【DV】【ひとり親家庭】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第13回	子ども家庭福祉の実際3 母子保健、障害、非行、いじめと不登校	【母子保健】【障害】【非行】【いじめと不登校】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第14回	諸外国の子ども家庭福祉	【フィンランド】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)
第15回	まとめ	【今後の課題】	予習：テキストの指定箇所を読む(90分) 復習：参考資料等を読み理解を深める(90分)

テキスト	[書名] 『新・基礎からの社会福祉 子ども家庭福祉 第2版』 [著者] 木村容子 有村大士 [出版] ミネルヴァ書房 2018年 [ISBN] 978-4-623-08316-9 [価格] 2,600円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(60%) レポート課題…(20%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	バズセッション、ミニッツペーパー、ワールドカフェなどアクティブラーニングを実施する。

講義名	公的扶助論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	6 semester (3年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①いまの経済事情を整理したうえで、生活困窮状態に陥る背景や経緯について理解することができる。 ②最低生活を営む上での計算方法や、そのための法制度の理解ができる。 ③生活困窮者の理解と生活困窮者を対象とした支援方法について理解することができる。
授業概要	本講義は、生活保護制度の仕組みを理解するとともに、その課題と現在の貧困問題とをつなぎ合わせながら学習を進めるものである。とくに憲法の生存権をベースに誕生した生活保護法の歴史や、扶助の仕組み。また子ども手当の概要について、今後への問題提起も含めた講義を行う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	公的扶助の概要と、「貧困」との関係	【絶対的貧困、相対的貧困】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第2回	憲法と生活保護法との関係	【生存権】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第3回	生活保護法の歴史	【欧米の歴史、日本の歴史】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第4回	生活保護法の仕組み	【生活保護法の4つの原理、原則】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第5回	扶助の種類	【8つの扶助の組み合わせ】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第6回	最低生活費	【最低生活費、算出方法】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第7回	生活保護の動向	【生活保護受給者数、受給世帯数、保護率】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第8回	生活保護制度の実施体制	【国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第9回	福祉事務所の役割と実際	【組織体制、活動の実際】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第10回	生活保護制度における専門職の役割	【現業員、査察指導員】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第11回	生活保護制度における多職種連携	【保健医療、労働、教育、連携】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第12回	生活困窮者自立支援法について	【自立相談支援事業、就労準備支援事業】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第13回	子どもの貧困対策事業の実際について	【子どもの貧困対策法、子どもの貧困対策事業】	

			予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復讐：課題プリント(90分)
第14回	低所得者支援について	【ホームレス、ワーキングプア、支援プログラム】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復讐：課題プリント(90分)
第15回	多重問題家族への支援について	【社会資源の活用、対応策の検討】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復讐：課題プリント(90分)
テキスト		適宜、プリント、資料を配布する。	
上記到達目標の評価の方法		レポート試験…(50%) 小レポート等課題…(20%) 平常点(講義への参加姿勢)…(30%)	

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	保健医療サービス論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	5セメスター（3年次春学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 三嶋 一輝	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）の相談援助活動に必要な医療保険制度や保健医療サービスについて理解できる。 ②保健医療サービスにおける専門職の役割と連携の実際、多職種協働における医療ソーシャルワーカーの具体的な実践について理解できる。
授業概要	本講義では、保健医療サービスの体系を学び、知識を習得する。また、医療ソーシャルワーカーの役割や機能について、援助の実践例を通じて理解を深める。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	導入・・・現代の医療を取り巻く環境と医療ソーシャルワーカー	【社会保障費】 【国民医療費】 【医療計画】 【クリティカルパス】 【MSW】	予習：テキスト第1章(1～14頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第2回	社会保障制度の概要と医療保険制度	【医療施設の機能と類型】 【医療従事者】 【医療保険制度】 【公費医療】 【介護保険制度】	予習：テキスト第2章(15～58頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第3回	診療報酬制度の仕組み	【診療報酬制度】 【病院機能分化】 【高額療養費制度】 【診療報酬と社会福祉士】	予習：テキスト第3章(59～76頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第4回	保健医療サービスにおける専門職とチーム医療	【多職種連携】 【チームアプローチ】 【IPE】	予習：テキスト第4章(77～90頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第5回	保健医療サービスにおける専門職の役割と実際	【医師、看護師等医療関係職種の役割】 【業務独占と名称独占】	予習：テキスト第5章(91～106頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第6回	保健医療ソーシャルワーク小史	【慈善組織化協会】 【医療社会事業】	予習：テキスト第6章(107～120頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第7回	対人援助の基礎と医療ソーシャルワーク実践	【対人援助の基礎】 【理論とアプローチ】	予習：テキスト第7章(121～134頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第8回	医療ソーシャルワーカーの業務内容と役割	【MSW業務指針】 【倫理綱領】	予習：テキスト第8章(135～150頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第9回	保健医療ソーシャルワーク実践① 事例検討 HIV/AIDS患者への支援と社会の問題	【人権保障】 【権利擁護】 【感染症】 【セクシャルマイノリティ】 【エイズ診療拠点病院】	予習：テキスト第9章(151～174頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第10回	保健医療ソーシャルワーク実践② 事例検討 経済的問題を抱える患者への支援（ホームレス、がん患者の支援）	【ホームレス】 【無保険】 【生活保護法】 【がん患者】 【緩和ケア】	予習：テキスト第10章(175～188頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)

第11回	保健医療ソーシャルワーク実践③ 事例検討 精神障害を抱えた患者・家族への支援	【精神保健福祉法改正】【社会的入院】【退院後生活環境調整員】【精神保健福祉士】	予習：テキスト第11章(189～206頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第12回	保健医療ソーシャルワーク実践④ 事例検討 高齢者の退院支援の実際と社会資源の活用	【人口減少社会】【超高齢社会】【地域包括ケアシステム】【在宅医療】	予習：テキスト第12章(207～224頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第13回	保健医療ソーシャルワーク実践⑤ 事例検討 周産期・新生児医療における医療ソーシャルワーク	【周産期医療】【長期入院児】【小児の退院支援】	予習：テキスト第13章(225～246頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第14回	保健医療ソーシャルワーク実践⑥ 事例検討 児童虐待対応と医療ソーシャルワーカーの役割	【院内児童虐待防止委員会】【児童相談所】【児童虐待】	予習：テキスト第13章(225～246頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)
第15回	保健医療ソーシャルワーク実践⑦ 事例検討 リハビリテーション医学と医療ソーシャルワーク 全体の振り返りと国試対策について	【回復期リハビリテーション病棟】【地域連携クリティカルパス】【FIM】【CGA】	予習：テキスト第13章(225～246頁)を読む(120分) 復習：配布資料、ノートを見直す(120分)

テキスト	[書名] 『保健医療サービス』 [著者] 児島美都子・成清美治・牧洋子編著 [出版] 学文社 2015 (最新版) [ISBN] 978-4762024801 [価格] 2,700円+税
参考書・参考資料等	[書名] 『2018年度版医療福祉総合ガイドブック』 [著者] NPO日本医療ソーシャルワーク研究会編集 [出版] 医学書院 2018 (最新版) [ISBN] 978-4260035866
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
その他特記事項	特になし



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	就労支援サービス論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	5semester (3年次春学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 城 貴志	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①就労支援において必要な多面的なものの見方・捉え方、アプローチについて学ぶことができる。 ②人が「働く」ことの意義を考察し、その上で「就労」「雇用」を取り巻く人口問題や経済等の環境変化、また現代社会のなかで働きづらさを抱えた人の現状や就労支援サービスの概要、またその課題等について学ぶことができる。 ③社会福祉士国家試験科目である「就労支援サービス」の内容について学ぶことができる。
授業概要	ものの見方・捉え方には多様性があり、支援においては必ず視野を広げた必修であり、グループワーク等で確認をする。 人が生きる、暮らすという営みのなかで「働く」ことの意義を考える講義やグループ討論を実施する予定。 人口減少、少子高齢社会が「雇用」「就労」にどのような影響を与えるのか、身近な時事の経済・雇用問題を題材として取り上げ、社会情勢と雇用の関連性について考える。 就労支援サービスの第一線で活躍する方をゲストスピーカーとしてお呼びし現状と課題について講演いただく。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	イントロダクション 講義の進め方、自己紹介	日常の身近な労働問題をアルバイト経験から考える。	資料を配付。ワーク有り。
第2回	ものの見方・捉え方	就労支援に必要な多面的な捉え方。	資料を配布し、グループで討論。
第3回	ものの見方・捉え方	なぜ就労支援には多面的な見方が必要なのか。	資料を配付し、グループで討論。
第4回	人が「働く」ということはどのようなことなのかを考える。	人類の進化と労働	資料を配付。 グループワークを実施。
第5回	働く意義を考える。	人が働く意義。働くことで得られるもの。	資料を配付。グループワークを実施
第6回	日本の社会保障制度と労働	社会保障費。労働力不足。	資料を配付。
第7回	人口減少がもたらす労働・雇用への影響	少子高齢社会。人口減少が労働環境にもたらす影響。都市部への一極集中人口。コミュニティ・ビジネス。	資料を配付。 テキスト第1章第1節P10～18
第8回	経済状況の変化から労働市場を考える。	経済状況と労働問題。日本の産業構造の変遷。グローバル経済とローカル経済。大企業と中小企業。	資料を配付。
第9回	労働に関する法律と制度	労働法規 労働者性と利用者の違い。 労働基準法、雇用保険法、最低賃金法等。	テキスト第1章第2節 P19～32まで
第10回	障害のある人とは	障害の定義。身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害。難病等。 ICFの視点	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第11回	障害者雇用の現状	障害者雇用促進法等障害者への労働施策。障害者雇用の昨今の状況。	テキスト第2章第1節P40～43、第2章第3節P51～65 第5節P73～80
第12回	障害のある人への就労支援サービス	障害者総合支援法と福祉サービスとしての就労支援。就労移行支援、就労継続支援等。	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第13回	ゲストスピーカー 生活困窮者支援の実践	生活困窮者自立支援法とその概念、サービス。	第3章第1節、第2節 P89～114、P123から136
第14回	ゲストスピーカー 若年無業者支援の実践	引きこもり等の若年無業者への支援。	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること

第15回	まとめ 専門職としての視点	リフレーミング、支援アプローチ、準抛枠、見方・捉え方	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
テキスト	[書名] 『新・社会福祉士養成講座 就労支援サービス 第4版』 [著者] 社会福祉士養成講座編集委員会著 [出版] 中央法規 [ISBN] 978-4-8058-5304-7 [価格] 1,728円(税込)		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。		
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 平常点・課題(授業ごとに簡易なレポートの提出)…(50%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし。		
その他特記事項	2019年度は春学期に開講する。		
備考	特になし。		



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	権利擁護と成年後見制度論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	7 semester (4年次春学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 五百木 孝行	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会福祉基礎構造改革における権利擁護の理念について、理解し説明できる。 ②成年後見制度の概要について、理解し説明できる。 ③社会福祉士の権利擁護活動について、理解し説明できる。 ④社会福祉士試験の「権利擁護と成年後見制度」の試験問題を解くことができる。
授業概要	本講義では、社会福祉基礎構造改革における「措置」から「契約」への転換において、福祉サービスを「購入」するために、質の良いサービスの供給や苦情解決、契約能力の確保等、従来の「措置」とは異なるサービス利用の下支えが必要となったため、その仕組みについて学び理解を深める。 さらにソーシャルワークの思想を背景に、権利擁護と成年後見制度の仕組みや担い手について理解を深める。その学習の蓄積の上に、社会福祉士試験問題の演習を行い、国試に対応できる実力を養う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに～ソーシャルワークにおける法の意味	社会福祉基礎構造改革とソーシャルワークの関係性 相談援助活動における法律問題の意味	復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第2回	ソーシャルワークにおける主要な法(1)	憲法の理解 基本的人権・生存権の意義	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第3回	ソーシャルワークにおける主要な法(2)	行政法の理解と実際	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第4回	ソーシャルワークにおける主要な法(3)	民法及び消費者保護の理解と実際	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第5回	後見1 未成年後見	未成年後見の概要 児童の権利擁護に係る児童相談所の役割	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第6回	後見2 成年後見制度の概要(1)	法定後見の概要と実際	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)小テストに取り組む(120分)
第7回	後見3 成年後見制度の概要(2)	任意後見制度の概要と実際	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)小テストに取り組む(120分)
第8回	後見4 成年後見員等の義務と責任	善管注意義務・意思尊重義務と身上配慮義務・居住用不動産の処分・利益相反行為等の理解	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)小テストに取り組む(120分)
第9回	日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業	両事業の概要の理解 日常生活自立支援事業と成年後見制度の関係性	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第10回	権利擁護機関1 司法	家庭裁判所の役割 法務局の役割	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)個別レポートに取り組む(60分)
第11回	権利擁護機関2 行政と社会福祉協議会	市町村の役割 社会福祉協議会の役割	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)個別レポートに取り組む(120分)
第12回	社会福祉士の権利擁護活動	社会福祉士の役割 権利擁護センターばあとなあ歩みと現状	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)個別レポートに取り組む(120分)

第13回	権利擁護専門職	弁護士役割 司法書士役割 公証人役割 医師役割	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)個別レポートに取り組む(120分)
第14回	権利擁護と虐待対応	高齢者・障害者・児童等に関する各虐待防止法の理解 虐待対応の実際	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)個別レポートに取り組む(120分)
第15回	今後の権利擁護と成年後見制度	成年後見制度の運用状況 横浜宣言の意義とその後 成年後見と意思決定支援の関係性 市民後見人と法人後見人の役割と今後 成年後見制度利用促進法と円滑化法成立と意義	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)この科目の総復習に取り組む(60分)

テキスト	[書名] 『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度 第4版第3刷』 [著者] 社会福祉士養成講座編集委員会 編 [出版] 中央法規 [ISBN] 978-4-8058-3936-2 [価格] 2, 200円+税
参考書・参考資料等	[書名] 『福祉小六法2019年版』 [著者] ミネルヴァ書房編集部 編 [出版] ミネルヴァ書房 3月ごろ刊行予定
上記到達目標の評価の方法	個別レポート…70% 小テスト …15% 平常点 …15%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	更生保護制度論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	8 semester (4年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 五百木 孝行	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①更生保護制度の概要と仕組みを理解し説明することができる。 ②ソーシャルワーカーの担い手として、司法と福祉の連携の現状を理解し説明することができる。 ③医療観察制度の概要と仕組みを理解し説明することができる。 ④社会福祉士試験の「更生保護制度」の試験問題を解くことができる。
授業概要	更生保護とは、犯罪をした者や非行のある少年に対し、社会内において適切な処遇を行うことにより、再び犯罪をすることを防ぎ、または非行をなくし、これらの者が善良な社会の一員として自立し、改善更生をすることを助けることである。そのことによって社会を保護し、個人及び公共の福祉を推進することが究極の目的である。 本講義では、更生保護制度の概要や更生保護の担い手について学び理解し、司法と福祉の連携の現状と課題について理解を深める。そこのソーシャルワーカーの役割についても考察する。 以上の学習の蓄積の上に、社会福祉士試験問題の演習を行い、国試に対応できる実力を養う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに～更生保護制度とは何か	制度の意義と役割：歴史、法制、組織、機構 刑事司法・少年司法の位置づけ	復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第2回	矯正の概要	我が国の犯罪の動向 矯正の位置づけ、歴史、組織	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第3回	更生保護制度の概要(1)	刑事司法のなかの更生保護	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第4回	更生保護制度の概要(2)	仮釈放等 保護観察	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第5回	更生保護制度の概要(3)	生活環境の調整 更生緊急保護	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第6回	更生保護制度の概要(4)	犯罪被害者等施策	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 小テストに取り組む(120分)
第7回	更生保護制度の概要(5)	恩赦 犯罪予防活動	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 小テストに取り組む(120分)
第8回	更生保護制度の担い手(1)	保護観察官 保護司	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 小テストに取り組む(120分)
第9回	更生保護制度の担い手(2)	更生保護施設 民間協力者	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分)
第10回	関係機関・団体との連携(1)	裁判所・検察庁・矯正施設 児童相談所とのかかわり	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 個別レポートに取り組む(60分)
第11回	関係機関・団体との連携(2)	公共職業安定所・自治体・民間団体等とのかかわり	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 個別レポートに取り組む(120分)
第12回	司法と福祉の連携	地域定着支援事業制度の現状と課題 社会福祉士の役割	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 個別レポートに取り組む(120分)
第13回	医療観察制度の概要	医療観察法の理解 保護観察所社会復帰調整官の役割	

			予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 個別レポート に取り組む(120分)
第14回	更生保護の実際	事例から学ぶ保護観察官の業務の実際	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) 個別レポート に取り組む(120分)
第15回	これからの更生保護制 度の展望	更生保護制度改革 国民・地域社会の理解 更生保護の課題	予習：資料を読む(60分) 復習：講義レジュメ、ノートを見直す(60分) この科目の総 復習に取り組む(60分)

テキスト	<p>[書名] 『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度 第4版』 [著者] 社会福祉士養成講座編集委員会 編 [出版] 中央法規 [ISBN] 978-4-8058-5433-4 [価格] 1,600円+税 *改訂版が刊行された場合、最新版を使用予定</p>
参考書・参考資料等	<p>[書名] 『更生保護入門 第3版』 [著者] 松本勝 編 [出版] 成文堂 [ISBN] 978-7923-1942-7</p> <p>[書名] 『犯罪白書』 [著者] 法務省 [URL] http://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html</p> <p>必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。 *改訂版が刊行された場合、最新版を使用予定</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>期末筆記試験…0% 個別レポート…70% 小テスト …15% 平常点 …15%</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	社会福祉援助技術演習 I
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	5thメジャー (3年次春学期)
受講者制限	子ども学科

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①基本的な相談援助の知識・技術の理解ができる。 ②基本的な相談援助の技術が使える。 ③専門職としての自己理解ができる。
授業概要	本演習では、相談援助実践における基礎的な資質、技術の習得のため、演習を通じて自己理解、他者理解、コミュニケーションスキルを学ぶ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題 (予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【ルールの説明、自己紹介、現状の確認】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。(90分) 復習：オリエンテーション内容を覚える。(90分)
第2回	自己理解① (自己のイメージ)	【自己のイメージ】	予習：自己のイメージ考えてくる。(90分) 復習：自己のイメージをノートに記述(90分)
第3回	自己理解② (他者のイメージ)	【他者のイメージ】	予習：他者のイメージ考えてくる。(90分) 復習：他者のイメージをノートに記述(90分)
第4回	自己理解③ (他者から見る自己のイメージ)	【他者から見る自己のイメージ】	予習：他者から見た自己のイメージ考えてくる(90分) 復習：他者から見た自己のイメージをノートに記述(90分)
第5回	自己理解④ (ライフヒストリー)	【ライフヒストリー】	予習：自己の過去について調べる。(90分) 復習：自己の歴史を振り返りノートに気づいたことを記述。(90分)
第6回	自己理解⑤ (ジェノグラム)	【ジェノグラム】	予習：自己の家族について調べる。(90分) 復習：自己の家族構成図を見て振り返りノートに気づいたことを記述。(90分)
第7回	自己理解、他者理解① (ジェノグラム)	【ジェノグラム・面談】	予習：ジェノグラム書き方について復習する。(90分) 復習：面談を振り返りノートに気づいたことを記述。(90分)
第8回	自己理解、他者理解② (エコマップ)	【エコマップ】	予習：自己のまわりの環境について調べる(90分) 復習：自己のエコマップを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第9回	自己理解、他者理解③ (ブラインドウオーク)	【ブラインドウオーク】	予習：視覚障がいについて調べる(90分) 復習：ブラインドウオークを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第10回	チームのコミュニケーション	【チームワーク】	予習：チームに必要なことについて調べる(90分) 復習：チームの活動を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第11回	基本的なコミュニケーション技術の習得	【傾聴】	予習：傾聴について調べる(90分) 復習：傾聴を実践し気づいたことをノートに記述(90分)
第12回	相談援助技法① (面接VTR、傾聴について)	【相談面接技法】	予習：相談面接に必要なことについて調べる(90分) 復習：相談面接を実践しを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第13回	相談援助技法② (ロールプレイ、うなづき)	【相談面接技法】	予習：相談面接技法に必要なことについて調べる(90分) 復習：相談面接技法を実践しを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第14回	相談援助技法③ (ロールプレイ、繰り返し)	【相談面接技法】	予習：相談面接技法(繰り返し)に必要なことについて調べる(90分) 復習：相談面接技法(繰り返し)を実践しを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第15回	相談援助技法④ (ロールプレイ、質問)	【相談面接技法】	予習：相談面接技法(質問)に必要なことについて調べる(90分) 復習：相談面接技法(質問)を実践しを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)

第16回	価値観と他者への理解① (司会、参加者の役割)	【司会力、参加力】	予習：司会者、参加者に必要なことについて調べる(90分) 復習：司会者役、参加者役を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第17回	価値観と他者への理解② (対話のルール)	【対話の作法】	予習：対話に必要なことについて調べる(90分) 復習：対話を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第18回	価値観と他者への理解③ (大切なもの)	【大切なものの対話】	予習：自己にとって大切なことについて調べる(90分) 復習：大切なものの対話を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第19回	価値観と他者への理解④ (価値の順位)	【価値観の順位付けの対話】	予習：価値観の順位について考えてくる(90分) 復習：価値観の振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第20回	価値観と他者への理解⑤ (身近なテーマ)	【身近なテーマの対話】	予習：対話のテーマについて考えてくる(90分) 復習：対話を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第21回	価値観と他者への理解⑥ (身近なテーマ)	【身近なテーマの対話】	予習：対話のテーマについて考えてくる(90分) 復習：対話を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第22回	価値観と他者への理解⑦ (相談事例)	【相談事例】	予習：相談事例について考えてくる(90分) 復習：相談事例の対話を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第23回	価値観と他者への理解⑧ (対話のまとめ)	【対話の振り返り】	予習：全ての対話について振り返りをする。(90分) 復習：全ての対話を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第24回	個人の価値観と専門職の価値観①(事例検討)	【事例検討】	予習：事例について考えてくる(90分) 復習：事例検討を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第25回	個人の価値観と専門職の価値観②(事例検討)	【事例検討】	予習：事例について考えてくる(90分) 復習：事例検討を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第26回	個人の価値観と専門職の価値観③(倫理綱領)	【倫理綱領】	予習：倫理綱領について考えてくる(90分) 復習：倫理綱領を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第27回	記録①(要約)	【記録の要約の練習】	予習：記録の要約に必要なことについて考えてくる(90分) 復習：記録の要約を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第28回	記録②(聴き取り)	【記録の聴き取り練習】	予習：記録の聴き取りに必要なことについて考えてくる(90分) 復習：記録の聴き取り練習を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第29回	エンパワメントの活用実践	【自己の強み、他者の強み】	予習：自己の強み、他者の強みについて考えてくる(90分) 復習：自己の強み、他者の強みを振り返り気づいたことをノートに記述(90分)
第30回	まとめ	【演習を振り返る】	予習：半年間のノートを熟読(90分) 復習：全体を振り返り気づいたことをノートに記述(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	個別レポート…(50%) 小テスト(30%) 平常点(20%)リフレクションペーパーの作成、ワークの取り組み
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	ロールプレイ、グループディスカッションなどのアクティブラーニングを実施する。

講義名	社会福祉援助技術演習Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	6thメジャー（3年次秋学期）
受講者制限	子ども学科

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 榎本 祐子	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①相談支援の意義と原則について理解することができる。 ②相談支援の実際を学び、内容や方法を理解することができる。
授業概要	本演習においては相談支援の意義や原則についての理解を深めた上で、クライアントに対する支援がどのように行われているかを相談支援の基本原則を理解しながら学習していく。学習をしていく際には、事例学習、事例検討、ワーキング学習をなるべく多く取り入れて、ディスカッション形式での学習を行い、実践力の向上にも力を入れていく。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	相談支援の意義	【相談支援、カウンセリング、相談の内容】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第2回	相談支援の意義	【ソーシャルワーカーの専門性、相談支援技術】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第3回	相談支援の基本 －クライアントの利益と福祉の実現－	【人権、自己決定の尊重】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第4回	相談支援の基本 －クライアントの利益と福祉の実現 ワーク学習－	【事例検討、自己決定のプロセス】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第5回	相談支援の基本 －クライアントの成長の共有－	【ソーシャルワーカーの専門的視点、相談援助場面に必要な知識と技術、成長段階】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第6回	相談支援の基本 －クライアントの成長の共有 ワーク 学習－	【事例検討、アドボケイト、バ이스テックの7原則】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第7回	相談支援の基本 －クライアントシステムの支援の向上 に資する支援－	【家族力向上、アウトリーチ、ホームビジ ティング】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第8回	相談支援の基本 －クライアントシステムの支援の向上 に資する支援 ワーク学習－	【事例検討、アウトリーチ、ホームビジ ティング】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第9回	相談支援の基本 －信頼関係を基本としたかわり、自己 決定、秘密保持の尊重－	【信頼関係の形成、バ이스テックの7原則、 ワーカビリティ】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第10回	相談支援の基本 －信頼関係を基本としたかわり、自己 決定、秘密保持の尊重 ワーク学習 －	【事例検討、受容と共感、秘密保持】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第11回	相談支援の基本 －地域の資源の活用と関係機関等との 連携・協カ－	【地域の社会資源、多職種連携】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第12回	相談支援の基本 －地域の資源の活用と関係機関等との 連携・協カ ワーク学習－	【事例検討、地域の社会資源、多職種連携】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第13回		【家族支援、相談内容】	

	相談支援の実際 －家族支援の実際－		予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第14回	相談支援の実際 －家族支援の実際 事例による学び－	【事例検討、苦情対応】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第15回	相談支援の実際 －家族支援の方法と技術－	【家族再統合と家族分離、アドボカシー、ソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第16回	相談支援の実際 －家族支援の方法と技術 事例による学び－	【事例検討、アサーティブコミュニケーション、権利擁護】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第17回	相談支援の実際 －家族支援の計画、記録、評価、カンファレンス－	【家族支援計画、記録と評価方法】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第18回	相談支援の実際 －家族支援の計画、記録、評価、カンファレンス 事例による学び－	【事例検討、カンファレンスの進め方】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第19回	相談支援の実際と事例分析 －ロールプレイ・フィールド等による事例分析①－	【事例検討、事例分析での記述、事例分析での機能分類】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第20回	相談支援の実際と事例分析 －ロールプレイ・フィールド等による事例分析②－	【事例検討、プロセスレコード、ロールプレイとターゲットスキル】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第21回	相談支援の実際と事例分析 －虐待の予防と対応等の事例分析①－	【事例検討、ケース発見、虐待対応】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第22回	相談支援の実際と事例分析 －虐待の予防と対応等の事例分析②－	【事例検討、エコマップ、早期発見・相談・通告】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第23回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児(者)とその家族への支援等の事例分析①－	【事例検討、障がい受容】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第24回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児(者)とその家族への支援等の事例分析②－	【事例検討、行動アセスメント、スーパーバイザー】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第25回	相談支援の実際と事例分析 －教育機関における相談支援の実際①－	【事例検討、エコロジカルソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第26回	相談支援の実際と事例分析 －教育機関における相談支援の実際②－	【事例検討、スクールソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第27回	相談支援の実際と事例分析 －児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援①－	【事例検討、入所児童と保護者、児童福祉施設最低基準】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第28回	相談支援の実際と事例分析 －児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援②－	【事例検討、日常生活と個別援助、ケース会議とチームアプローチ】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第29回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児施設、母子生活支援施設等における相談支援①－	【事例検討、ライフステージ、聞き取り技術】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第30回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児施設、母子生活支援施設等における相談支援②－	【事例検討、ネットワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)

テキスト	【書名】『基本保育シリーズ19 保育相談支援』 【出版】中央法規出版、2015 【ISBN】978-4805852194 【価格】2,000円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	レポート…(60%) 小レポート…(20%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「社会福祉援助技術演習Ⅰ」
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	演習科目により、さまざまな技法でアクティブラーニングを実施する。

講義名	社会福祉援助技術演習Ⅲ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	8 semester (4年次秋学期)
受講者制限	子ども学科

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	社会福祉援助技術演習Ⅲの講義は、社会に出て社会福祉士として活躍するための知識・技術の実践として位置づけている。そのため、事例検討を主に、どのような法制度を駆使し、またどういった心理的サポートを行えばいいのかについて学ぶことができる
授業概要	講義概要としては、事例分析・検討を主にしていることから、従来の福祉の対象者と考えられている低所得者、子ども、障がい、高齢といった領域での検討・分析だけではなく、不登校や成人の引きこもり、孤独死等、現代的なテーマについても、ディスカッションを主にしながら視野を広げ、また知識を深めることを目的としている

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 社会福祉援助と、その技術とは	対人援助とは？ 援助のための技術とは？	予習：実習中の課題を整理する 復習：これまでの実習を振り返る
第2回	事例研究の方法と分析課題① 高齢者	事例検討 高齢者	予習：高齢者福祉を振り返る 予習：法制度のあたりをつける
第3回	事例検討の方法と分析課題② 高齢者	事例検討 高齢者	予習：高齢者福祉を振り返る 予習：法制度のあたりをつける
第4回	事例検討の方法と課題分析① 低所得者	事例検討 低所得者	予習：公的扶助を振り返る 予習：生活保護法制度を確認する
第5回	事例検討の方法と課題分析② 低所得者	事例検討 低所得者	予習：公的扶助を振り返る 予習：生活保護法制度を確認する
第6回	事例検討の方法と課題分析① 子どもと家族	事例検討 子どもと家族	予習：児童療育での実習の振り返り 予習：児童福祉法制の確認
第7回	事例検討の方法と課題分析② 子どもと家族	事例検討 子どもと家族	予習：家族とは 予習：これからのライフスタイルを考える
第8回	事例検討の方法と課題分析③ 子どもと家族	事例検討 子どもと家族	予習：次世代の家族とは 予習：家族をめぐる政策動向
第9回	面接場面を想定したディスカッション①	困難事例をもとに考察を深める	予習：社会福祉法制度の確認 予習：アウトプットの作業から
第10回	面接場面を想定したディスカッション②	困難事例をもとに考察を深める	予習：社会福祉法制度の確認 予習：アウトプットの作業から
第11回	面接場面を想定したディスカッション③	困難事例をもとに考察を深める	予習：社会福祉法制度の確認 予習：アウトプットの作業から
第12回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント①	リスクとはいったい何か？	予習：リスクとは何か 予習：どこまでのリスクなら負うことができるのか
第13回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント②	どこまでのリスクなら負うことができるのか？	予習：リスクをどうコントロールするのか 予習：次なるリスク、課題は
第14回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント③	大規模災害時における対応と課題①	予習：阪神・淡路大震災をもとに 予習：東日本大震災の課題
第15回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント④	大規模災害時における対応と課題②	予習：西日本大豪雨の課題 予習：豪雨・風水害という視点
第16回			

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等	テーマに沿って、その都度資料を配布する。
上記到達目標の評価の方法	講義への参加割合（発言や報告等）…80% 講義中に指定するレポート課題等…20%

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	社会福祉援助技術実習指導 I
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	6thメジャー (3年次秋学期)
受講者制限	社会福祉士資格 申請者

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 施設実習を通して、利用者のおかれている生活環境（施設・在宅）を理解し説明できる 2. 施設実習を通して、施設を利用する利用者の人間理解を深め、記録することができる 3. 実習施設での職員の多様な援助業務、職員間・職種間の連携等を学び、自己洞察を深めて今後の社会福祉総合実習に生かすことができる
授業概要	到達目標の達成に向け、実習指導では事前学習と事後の反省と振り返りを行う。事前学習は、社会人としてのマナー、施設実習に必要な基礎知識、日誌記録の意義と書き方、事前の実習先（施設）訪問を行い、実習計画の作成など実習の準備を進める。とりわけ、施設実習では生活を共にするなかでの人間理解、介護などの援助技術を修得する。事後は振り返りシートやアンケートにより個別指導を行う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	施設実習オリエンテーション、施設実習の意義と目的（施設実習ビデオ鑑賞含む）、実習ルール確認	【施設実習の意義 社会人としての実習ルール 人間理解】	予習：実習ルールを読む(60分) 復習：高校福祉志望動機レポート(60分)
第2回	高齢者施設についての基本的理解	【施設の援助業務 介護職の職務理解 職員連携】	予習：実習ガイドブックを読む(60分) 復習：施設での介護職の役割と仕事を考える(60分)
第3回	利用者の理解（高齢期に見られる特徴的な症状）1	【活動、認知症、環境、家族】	予習：配付資料により老人福祉施設の概要を読み事前に学ぶ(60分) 復習：それまでに学んだ福祉系科目を復習(60分)
第4回	介護保険制度の仕組みの理解①	【介護保険制度の仕組み】	予習：介護保険のパンフレットから 復習：介護保険のパンフレットから
第5回	介護保険制度の仕組みの理解②	【介護保険制度の特徴】	予習：介護保険のパンフレットから 復習：介護保険のパンフレットから
第6回	介護保険制度の仕組みの理解③	【介護保険制度の課題】	予習：介護保険のパンフレットから 復習：介護保険のパンフレットから
第7回	実習記録の書き方1	【日誌の書き方・振り返りと考察】	予習：与えられた宿題(60分) 復習：与えられた宿題(60分)
第8回	実習記録の書き方2	【実習の目的と計画 施設昨日 利用者理解 職務理解】	予習：施設実習のイメージをつくる(60分) 復習：先輩の実習から4回生までである実習の流れをつかむ(60分)
第9回	実習先調べ・事前オリエンテーションの進め方①	【実習の具体化 実習施設調べ(理念沿革利用者) 日課表作成】	予習：施設実習のイメージをつくる(60分) 復習：実習施設の種別・特徴(60分)
第10回	実習先調べ・事前オリエンテーションの進め方②	【実習の具体化 実習施設調べ(理念沿革利用者) 日課表作成】	予習：施設実習のイメージをつくる(60分) 復習：先輩の実習から4回生までである実習の流れをつかむ(60分)
第11回	実習先調べ・事前オリエンテーションの進め方③	【実習の具体化 実習施設調べ(理念沿革利用者) 日課表作成】	予習：テキストを通して自分の実習計画書を点検しイメージをもつ(60分) 復習：実習を通して何を学ぶか気持ちアップさせる(60分)
第12回	実習計画書・事前オリエンテーションレポートを通して実習で何を学ぶか確認する	【実習計画書の作成①】	予習：何を学びたいのか(60分) 復習：学ぶ上での課題は(60分)
第13回	実習計画書・事前オリエンテーションレポートを通して実習で何を学ぶか確認する	【実習計画書の作成②】	予習：何を学びたいのか(60分) 復習：学ぶ上での課題は(60分)

第14回	実習計画書・事前オリエンテーションレポートを通して実習で何を学ぶか確認する	【実習計画書の作成③】	予習：振り返りシートに記載する(60分) 復習：何が課題なのかを分析する(60分)
第15回	まとめ	【実習先への連絡と実習ノート】	まとめ
テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。		
上記到達目標の評価の方法	口頭での発表…60% 講義参加状況…40%		



✕ ウィンドウを閉じる

講義名	社会福祉援助技術実習指導Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	7.8 Semester (4年次春～秋学期)
受講者制限	社会福祉士資格 申請者

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
教授	烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 施設実習を通じて、制度や法律と、利用者支援との関係が理解できる。 2. 実習先である機関で働くことを想定し、どのような知識や技能が必要となるのかを理解することができる。
授業概要	この講義は、すでに前半の社会福祉実習を経験したうえでの科目設定であることから、実習先機関に就職することを想定し、必要となる知識や技術の確認と、社会福祉士受験に向けた学習と実習活動という実勢との関係性が理解できるよう、グループ学習を経て、個別指導を行う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	社会福祉士としての業務と役割について学ぶ①	【社会福祉士の業務と役割①】	予習：前半実習の振り返り(90分) 復習：前半実習の課題確認(90分)
第2回	社会福祉士としての業務と役割について学ぶ②	【社会福祉士の業務と役割②】	予習：前半実習の振り返り(90分) 復習：前半実習の課題確認(90分)
第3回	理想とする社会福祉士の働き①	【理想の社会福祉士像に対し、いまのあなたに何が課題となっているのか①】	予習：理想の社会福祉士像について調べる。(90分) 復習：自己の課題についてノートに整理する。(90分)
第4回	理想とする社会福祉士の働き②	【理想の社会福祉士像に対し、いまのあなたに何が課題となっているのか②】	予習：理想の社会福祉士像について調べる。(90分) 復習：自己の課題についてノートに整理する。(90分)
第5回	実習先事業所の選定に向けた希望と課題①	【実習先事業所選定と希望】	予習：希望する事業所について考える。(90分) 復習：希望とする事業所での課題についてノートに整理する。(90分)
第6回	実習先事業所の選定に向けた希望と課題②	【希望する実習先事業所で求められるもの】	予習：希望する事業所で求められることについて考える。(90分) 復習：希望とする事業所で求められることについてノートに整理する。(90分)
第7回	実習先事業所の選定に向けた希望と課題③	【希望する実習先事業所で求められるもの】	予習：希望する事業所について考える。(90分) 復習：希望とする事業所での課題についてノートに整理する。(90分)
第8回	実習先事業所の確定とそれへの準備①	【実習先事業所の概要】	予習：実習先事業所の概要を調べる。(90分) 復習：実習先事業所の概要をノートに整理する。(90分)
第9回	実習先事業所の確定とそれへの準備②	【実習先事業所の置かれている環境】	予習：実習先事業所の課題を調べる。(90分) 復習：実習先事業所の課題をノートに整理する。(90分)
第10回	実習先事業所の確定とそれへの準備③	【実習先事業所の法制度】	予習：実習先事業所の法制度を調べる。(90分) 復習：実習先事業所の法制度をノートに整理する。(90分)
第11回	実習先事業所の確定とそれへの準備④	【実習先事業所で働くことと仮定した場合】	予習：実習先事業所で働くことと仮定した場合を考える(90分) 復習：実習先事業所で働くことと仮定した場合の自分の考えを整理する。(90分)
第12回	記録の書き方と考察①	【記録の書き方①】	

			予習：記録の書き方についてを調べる。(90分) 復習：記録の書き方についてノートに整理する。(90分)
第13回	記録の書き方と考察②	【記録の書き方②】	予習：記録における説明責任について調べる。(90分) 復習：説明上手になる方法を整理する。(90分)
第14回	記録の書き方と考察3	【記録の書き方③】	予習：事故を想定した記録の書き方を調べる。(90分) 復習：記録の考察の仕方を整理する。(90分)
第15回	まとめと課題	【実習前オリエンテーション】	予習：実習における注意事項を調べる。(90分) 復習：実習計画について再確認。(90分) (90分)
第16回	実習巡回指導①	【実習計画、実習目標】	予習：実習日誌の整理(90分) 復習：指導の考察(90分)
第17回	実習巡回指導②	【実習計画、実習目標】	予習：実習日誌の整理(90分) 復習：指導の考察(90分)
第18回	事後実務指導	【実習指導、振り返り】	予習：振り返りシートの作成(90分) 復習：振り返りシートの完成(90分)
第19回	実習の振り返り①	【利用者理解、利用者支援】	予習：課題プリントの作成(90分) 復習：課題プリントの完成(90分)
第20回	実習の振り返り②	【施設の役割・機能、利用者支援】	予習：課題プリントの作成(90分) 復習：課題プリントの完成(90分)
第21回	実習の振り返り③	【利用者支援、地域連携】	予習：課題プリントの作成(90分) 復習：課題プリントの完成(90分)
第22回	実習報告書の作成①	【利用者支援、自己洞察、言語化】	予習：課題プリントの作成(90分) 復習：実習報告書の作成(90分)
第23回	実習報告書の作成②	【利用者支援、自己洞察、言語化】	予習：実習報告書の作成(90分) 復習：実習報告書の完成(90分)
第24回	個別支援計画の作成①	【ニーズ、アセスメント、プランニング】	予習：課題プリントの熟読(90分) 復習：支援計画書の完成(90分)
第25回	個別支援計画の作成②	【ニーズ、アセスメント、プランニング】	予習：課題プリントの熟読(90分) 復習：支援計画書の完成(90分)
第26回	個別支援計画の作成③	【ニーズ、アセスメント、プランニング】	予習：課題プリントの熟読(90分) 復習：支援計画書の完成(90分)
第27回	グループスーパービジョン①	【事例検討、スーパービジョン】	予習：事例の熟読、関連法の検討(90分) 復習：課題プリントの作成(90分)
第28回	グループスーパービジョン②	【事例検討、スーパービジョン】	予習：事例の熟読、関連法の検討(90分) 復習：課題プリントの作成(90分)
第29回	実習報告会	【プレゼンテーション、ディスカッション】	予習：発表準備(90分) 復習：報告会の振り返り(90分)
第30回	社会福祉士としてのスタート	【総括、社会福祉士の専門性】	予習：社会福祉士の専門性について調べる(90分) 復習：全体のノートの整理(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	課題レポート作成(80%) 平常点・リフレクションペーパーの作成、積極的な授業態度(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「社会福祉実習指導Ⅰ」
教材費用・実習費用等の負担費用	別途指示
その他特記事項	質問法や事例検討などのアクティブラーニングを実施する。
備考	特になし

講義名	社会福祉援助技術実習 I
講義区分	実習
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	6thメジャー (3年次秋学期)
受講者制限	社会福祉士資格 申請者

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習施設の施設機能を理解し説明できる 2. 実習施設の利用者の人間理解を深め記録することができる 3. 実習施設での職員の多様な援助業務、職員間・職種間の連携等を学び施設における介護士の職務理解を理解し、自己洞察を深めて今後の実習に生かすことができる 	
授業概要	高齢者福祉施設・障害者施設（居住型施設）で主に宿泊実習により、その施設の生活に参加し、利用者（高齢者・障害者）への理解を深めるとともにそこでの機能、役割、職務を理解する。くわえて介護職・福祉職の重要性を図る。	
授業計画表		
回	学習内容	【キーワード】
第1回	<p>実習の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習施設の機能と役割について理解する。 2. 施設の一日の流れを理解し、ケア技術を学ぶ。 3. 生活を共にし、関わることや観察を通して利用者の理解とそのニーズを把握する。 4. 施設での介護職の職務理解をすすめ、自己洞察を深める。 5. 施設での安全及び保健について理解する。 <p>概ね、最初の2～3日間は見学・観察実習施設機能、所属する集団の利用者や職員の名前を覚える。 基本的な日課の流れと仕事の流れを学ぶ。 次の3日目～8日目は参加実習とし、積極的に利用者に関わりケアを学ぶ。 利用者個々の援助方法を学ぶ。 利用者個々と関わることによって積極的にコミュニケーションを図り、利用者理解を深める。 利用者に関わることによって自己洞察を進める。 最後の2日間を部分実習 朝礼、活動の一部を立案実施</p>	【実習先施設の理解】
上記到達目標の評価の方法	実習先からの評価…(50%) 提出物…(30%) 講義の参加状況…(20%)	

講義名	社会福祉援助技術実習Ⅱ
講義区分	実習
基準単位数	3
必選区分	選択
配当年次	7 semester (4年次春学期)
受講者制限	社会福祉士資格 申請者

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
教授	烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会福祉援助技術実習Ⅰを踏まえ、より深く実習施設・機関の機能を理解し、説明できる。 ②社会福祉援助技術実習Ⅰを踏まえ、異なる実習施設・機関の利用者の理解を深め、記録することができる。 ③社会福祉援助技術実習Ⅰを踏まえ、異なる実習施設・機関の地域における役割を理解し、他機関他職種連携のあり方について理解し、実践できる。
授業概要	福祉施設・相談機関における15日間の実習を通して、利用者の権利を保障する相談支援の方法について体験的に理解する。

授業計画表

回	学習内容
第1回	実習の目標 1. 実習施設・機関の機能と役割について理解する 2. 業務の一日の流れを理解し、職員の利用者とのかかわりについて理解する。 3. 実習施設・機関における個別的なソーシャルワークの展開方法について体験的に理解する。 4. 地域における施設・機関の役割について理解し、他機関他職種連携のあり方について理解する。 5. 施設・機関におけるソーシャルアクションについて理解する。 概ね、前半では実習担当者の説明を受け、施設・機関の役割を理解する。 基本的な施設・機関の業務や組織運営について理解する。 対象となる利用者の理解を深める。 実習中盤では、利用者とのかかわりを通して、社会福祉士としての支援について実践する。 利用者のニーズや利用者を取り巻く環境について理解する。 利用者のニーズに基づく支援計画の作成と支援の展開について理解する。 必要な社会資源について理解する。 実習の終盤では、実習目標に対する自己評価を行い、実習担当者の指導に基づき目標達成に向けて取り組む。 社会福祉士としての相談支援について考察を行い、まとめる。

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	評価票… (50%) 巡回指導、振り返り… (50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「社会福祉援助技術実習Ⅰ」 「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	実習を通じて体験的に学ぶ。